

はじめに

小平市立図書館では、図書館資料の貸し出しを行うほか、各種のサービス、事業を展開しております。これらの様々な図書館事業を市民の皆様にも少しでも理解していただき、図書館利用の参考としていただけたらということで、今年も「小平市立図書館事業概要」を作成いたしました。

また、昨年6月に図書館法が改正になりましたが、新たな規定として「図書館は、当該図書館の図書館奉仕に関する地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、当該図書館の運営の状況に関する情報を積極的に提供するよう努めなければならない。」という規定が盛り込まれました。この「小平市立図書館事業概要」は、市民の方と一緒に歩みながら「心を豊かにする図書館」を作っていくためにも役に立つ資料であると考えております。市民の方との更なる連携・協力の推進を図っていききたいと思います。

おかげをもちまして、平成20年度も貸出資料数は、上昇を続け、前年度と比較して5万件ほど伸び、159万件となりました。3年連続で「図書館サービス計画」の目標数値150万件を超えているところです。貸出資料数が伸びるということは、多くの市民の方が図書館を御利用いただいているという証であり、非常にありがたいことであると考えております。

ところで現代において図書館は、様々な役割を求められており、これらの課題にこたえていく必要があります。

まずレファレンスについてですが、課題解決型図書館という言葉もあるように、今後レファレンス業務は、ますます図書館の大きな柱となっていくのではないかと思われます。今年度は、中央図書館で好評の開放型端末（インターネット）を花小金井図書館、小川西町図書館の両館にも設置しました。大いに御利用いただけたらと考えております。

学校図書館との連携も重要な課題となっております。図書館では、文部科学省の研究委託事業として、これまでの3年間、「学校図書館支援センター事業」を実施してきましたが、この事業も昨年度に終了したことから、新たに「学校図書館との連携推進事業」を開始しました。各中学校への学校図書館協力員の配置と図書配送を主な内容としております。

また、今年度は、小平市子ども読書活動推進計画の改定を予定しており、より良い計画を策定していきたいと考えております。

今後も、「はいりやすく、親しみやすい図書館」、「簡単な手続きで利用できる図書館」「資料のそろっている図書館」という開館以来の運営方針を尊重するとともに、様々な事業を展開してまいります。

平成21年9月

小平市中央図書館長
柄澤 俊彦

目次

はじめに	1
目次	2
図書館事業体制	
1 小平市図書館の開設	5
2 図書館配置図	5
3 施設概要	6
4 事務分掌	7
5 予算概要	9
図書館事業計画（平成20年3月19日決定）	
1 基本方針	10
2 推進事項	11
3 実施事業	12
この1年間の事業の成果	
1 図書館協議会の開催	17
2 蔵書管理	18
3 図書資料等の収集・整理・保存・貸出	20
4 視聴覚資料の収集・整理・保存・貸出	21
5 地域資料等の収集・整理・保存及びデジタル化	22
6 レファレンスサービス	24
7 講座・講演会等の開催	25
8 展示会等の開催	27
9 児童サービス	27
10 小中学校との連携促進	29
11 障がい者・高齢者サービス	30
12 複写サービス	31
13 リクエストサービス	31
14 広域利用の推進	32
15 図書館関係団体に対する援助・連携	34
16 図書館ボランティアの参加促進	34
17 図書清掃の実施	35
18 施設の運営管理	35
19 図書館施設の提供	36
20 実習生及び職場体験学習等の受入れ	36
21 職員研修及び実務研修等	37
22 広報活動	39
23 利用者アンケート調査	39

各地区図書館の事業の成果

1 仲町図書館	40
2 花小金井図書館	41
3 小川西町図書館	41
4 喜平図書館	42
5 上宿図書館	45
6 津田図書館	45
7 大沼図書館	46

参考資料

資料1 小平市図書館協議会「人と人を結ぶ図書館～広報活動について～（提言）」	49
資料2 平成20年度小平市立図書館事業統計	61
資料3 平成20年度小平市子ども文庫連絡協議会事業報告	95

表

【表1】小平市立図書館施設概要	6
【表2】小平市立図書館事務分掌	7
【表3】小平市立図書館当初予算概要	9
【表4】図書館協議会の審議案件	17
【表5】資料等補修・修理実績（中央図書館）	18
【表6】除籍件数	19
【表7】ブック・リサイクル事業の実績	19
【表8】所蔵資料数	22
【表9】地域資料の所蔵資料数	22
【表10】地域資料分類別受入資料数	22
【表11】レファレンス統計の推移	24
【表12】レファレンス記録票件数の推移（記録票に記入された事例件数）	24
【表13】インターネット開放端末利用件数の推移	25
【表14】講演会・講座の内容	26
【表15】民話講座の内容	26
【表16】読み聞かせ実践講座の内容	26
【表17】おはなし会の開催回数と参加人数	28
【表18】絵本のへやの開催回数と参加人数	28
【表19】リクエスト件数の推移	32
【表20】相互貸借の実績	33
【表21】図書館ボランティア活動実績	35
【表22】図書清掃（消毒）の実施状況	35
【表23】集会室貸出推移	36
【表24】図書館見学の受入れ実績	36
【表25】職場体験の受入れ実績	37
【表26】司書講習先及び期間	37
【表27】職場研修の内容	37
【表28】レファレンス研修の内容	38

【表29】 仲町図書館の年間展示テーマ	40
【表30】 郵送貸出の推移	42
【表31】 小学校教科書の所蔵点数	42
【表32】 中学校教科書の所蔵点数	42
【表33】 喜平図書館の幼児コーナーの年間展示テーマ	43
【表34】 喜平図書館・上宿図書館の集会室利用状況	44
【表35】 ポスター等収集実績一覧	45
【表36】 年間展示実績	46

図

【図1】 小平市内の図書館配置図	5
【図2】 除籍資料・寄贈図書のリサイクルの流れ	19
【図3】 蔵書数・貸出数の推移	20
【図4】 一般書分類別所蔵資料率	21
【図5】 児童書分類別所蔵資料率	21
【図6】 複写サービスの推移	31
【図7】 リクエスト件数の推移	32
【図8】 小平市立図書館の広域利用状況	33
【図9】 小平市民の広域利用状況	33

図書館事業体制

1 小平市図書館の開設

小平市図書館が誕生したのは、昭和50年5月でした。当時多摩地域には32の市町村がありましたが、小平市図書館は其中で23番目に52館目の図書館として開館しました。

小平市における図書の貸出は、昭和28年に都立立川図書館（現在の都立多摩図書館）の移動図書館「むらさき号」が市内3箇所を拠点にして貸出業務を行ったのが始まりと記録されています。

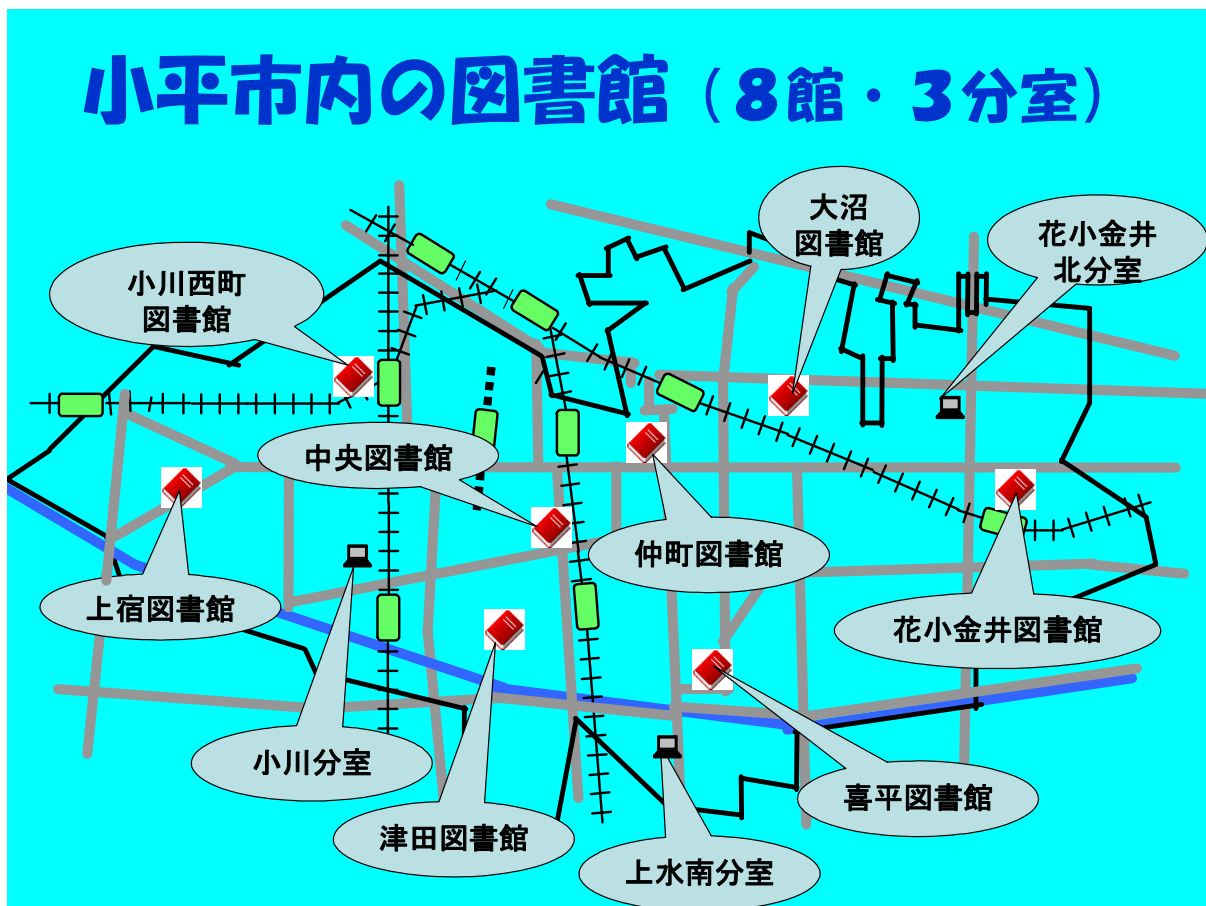
昭和39年から小平市公民館（現在の仲町公民館）に図書室が設けられ図書の貸出が始まりましたが、利用が増加し、図書館の必要性が強く認識されるようになり、昭和49年4月に図書館準備室が設けられ、昭和50年5月に現在の仲町図書館が、小平市第1号の図書館としてオープンしました。

さらに、地区図書館の設置とネットワークを形成することを「長期総合計画」で策定し、昭和54年から57年にかけて、毎年、4館の地区図書館を設置し、昭和60年に現在の中央図書館が開館しました。そして、昭和62年に地区図書館1館が開館しましたが、その後はしばらく期間が開き、平成13年に大沼図書館が開館しました。これにより、中央館1館、地区図書館7館、分室3館が整備され、「15分歩けば図書館が利用できる」図書館ネットワークが完成しました。

2 図書館配置図

【図1】 小平市内の図書館配置図

（平成20年4月1日現在）



3 施設概要

【表1】小平市立図書館施設概要

(平成20年4月1日現在)

(単位：㎡)

項目	中央図書館	仲町図書館	花小金井図書館	小川西町図書館	喜平図書館	上宿図書館	津田図書館	大沼図書館	
開館年月	S60.7	S50.5	S54.4 H18.5(移転)	S55.7	S56.6	S57.6	S62.7	H13.1	
床面積	延床面積	4,703.555	1,141.080	1,661.890	1,971.218	1,156.450	932.240	1,299.950	1,422.140
	地階	968.184	25.980	-	-	-	-	-	-
	1階	1,582.684	363.330	762.330	1,056.290	610.200	465.400	1,299.950	1,422.140
	2階	1,042.275	369.790	630.970	914.928	546.250	466.840	-	-
	3階	1,018.907	312.270	268.590	-	-	-	-	-
開架施設	延開架面積	1,543.984	505.450	479.490	543.091	506.650	388.330	409.740	434.340
	一般開架室	1,301.250	197.160	479.490	543.091	506.650	388.330	409.740	434.340
	参考室	242.734	109.350	-	-	-	-	-	-
	児童室	-	198.940						
お話室	37.429	28.960	43.200	37.194	37.038	30.880	28.300	48.220	
閉架	閉架書庫	406.324	51.030	61.020	50.812	49.720	62.260	37.120	65.470
	古文書庫等	142.319	-	-	-	-	-	-	-
事務用施設	事務室	203.372	77.360	99.000	78.031	65.930	72.120	51.860	89.480
	会議室	66.591	48.780	-	-	-	-	-	-
	作業室	71.381	-	-	-	19.290	-	-	-
	職員休憩室	70.037	28.960	19.350	36.618	36.925	34.050	24.700	-
	応接室	22.678	-	-	-	(約5.63)	8.400	11.520	-
	更衣室	23.963	-	-	2.860	(約1.72)	1.640	-	-
	倉庫	116.452	-	12.000	-	28.425	17.650	-	9.260
共用施設	玄関	36.761	-	29.410	25.497	26.748	14.840	-	29.810
	便所	116.925	-	49.590	30.511	57.477	62.560	-	37.680
	エレベーター、階段、廊下	426.494	-	117.310	119.808	147.810	109.300	-	-
管理施設	機械室	439.317	95.690	17.680	16.838	9.084	8.000	24.320	-
	警備員室	-	-	-	-	3.000	3.200	-	-
	委託員控室	14.772	-	11.400	-	9.648	5.440	-	14.870
集会室	-	-	-	-	150.090	101.000	-	-	
その他	964.756	304.850	1.520	53.628	8.600	12.570	16.330	108.350	
図書館専有床面積	4,703.555	1,141.080	899.560	994.888	1,006.360	831.240	603.890	646.770	

図書館専有面積 総合計	10,827.343
----------------	------------

4 事務分掌

【表2】 小平市立図書館事務分掌

(平成 20 年 4 月 1 日現在)

庶務係	<ul style="list-style-type: none"> ○ 図書館の総合計画の企画・立案及び調整に関する事。 ○ 図書館協議会に関する事。 ○ 図書館情報システムの開発、維持管理及び運用に関する事。 ○ 図書館サービスの利用統計及び調査に関する事。 ○ 図書館のPR及び広報に関する事。 ○ 図書館職員の研修に関する事。 ○ 公印の管守に関する事。 ○ 多摩六都図書館協力事業の調整に関する事。 ○ 図書館実習生等の受入に関する事。 ○ 施設、設備及び備品の維持管理に関する事。 ○ 予算、決算、契約及び経理に関する事。 ○ 館内の文書及び物品の管理に関する事。 ○ 各係及び地区図書館の連絡調整に関する事。 ○ その他、館内他係及び地区図書館に属さない事。
サービス係	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総合カウンターのサービス及び運営に関する事。 ○ 図書館資料の利用及び貸出に関する事。 ○ 図書館資料の相互貸借及びリクエストに関する事。 ○ 児童サービスに関する事。 ○ 障がい者サービスに関する事。 ○ 図書館行事（講座、講演会、おはなし会、展示会等）の開催に関する事。 ○ 分室の運営に関する事。 ○ 関係機関との連絡及び調整に関する事。 ○ 学校図書館の支援に関する事。 ○ 市内の学校及び子ども文庫との連携に関する事。 ○ 図書館ボランティアに関する事。 ○ 子ども読書活動の推進に関する事。 ○ その他、館内他係及び地区図書館に属さない図書館サービスに関する事。
資料係	<ul style="list-style-type: none"> ○ 蔵書計画に関する事。 ○ 図書館資料の発注及び受入並びに参考資料及び地域資料を除く図書館資料の選定、収集及び整理に関する事。 ○ 図書館資料の維持管理、補修、除籍、廃棄及びリサイクルに関する事。 ○ 図書館資料の受贈及び受託に関する事。 ○ 開架及び閉架書庫の資料管理に関する事。
調査係	<ul style="list-style-type: none"> ○ 参考室カウンターのサービス及び運営に関する事。 ○ 参考調査及び読書相談に関する事。 ○ 参考資料及び地域資料の選定、収集及び整理に関する事。 ○ 参考資料及び地域資料の維持管理、補修、除籍及び廃棄に関する事。

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特別文庫に関する事。 ○ 古文書及び古書の受贈及び受託に関する事。 ○ 古文書及び古書の整理、調査、出版、展示等に関する事。
地区図書館	<ul style="list-style-type: none"> ○ 図書館資料の利用及び貸出に関する事。 ○ 図書館資料の購入に係る資料作成に関する事。 ○ 図書館資料の選定、収集、整理及び保存に関する事。 ○ 図書館資料の廃棄に係る資料作成に関する事。 ○ 図書館資料の相互貸借に関する事。 ○ 地域資料に関する事。 ○ 読書会、講演会、おはなし会、鑑賞会、資料展示会、その他集会に関する事。 ○ 読書相談及び参考調査に関する事。 ○ 図書及び書架の整備に関する事。 ○ 調査、統計及び広報に関する事。 ○ 公印の管守に関する事。 ○ 施設、設備及び備品の維持管理に関する事。 ○ 地区図書館内の文書及び物品管理に関する事。 ○ 集会室（喜平図書館、上宿図書館）の貸出に関する事。

5 予算概要

【表3】 小平市立図書館当初予算概要

(単位：千円)

事業名		20年度	19年度	増減
図書館費合計		863,211	851,313	11,898
図書館人件費		434,820	443,753	△8,933
中央	中央図書館運営管理事業	91,148	89,545	1,603
	図書館情報総合管理システム運営事業	33,916	36,863	△2,947
	古文書の収集・整理・保存事業	4,631	4,749	△118
	地域資料の収集・整理・保存事業	610	599	11
	障害者福祉推進事業	822	833	△11
	視聴覚事業	756	657	99
	図書資料の収集事業	54,747	54,747	0
	ホームページの更新	0	0	0
	地域資料・情報の充実と情報発信	1,155	1,155	0
	レファレンス機能の充実	1,133	1,471	△338
	学校図書館支援センター推進事業	5,415	4,409	1,006
合計	194,333	195,028	△695	
仲町	仲町図書館運営管理事業	27,415	27,504	△89
	逐次刊行物及びタウン誌の収集・整理・保存事業	134	115	19
	合計	27,549	27,619	△70
花小金井	東部市民センター施設管理事業	42,351	41,968	383
	東部市民センター移転事業	0	0	0
	花小金井図書館運営管理事業	11,835	11,380	455
	合計	54,186	53,348	838
小川西町	西部市民センター施設管理事業	20,986	21,289	△303
	小川西町図書館運営管理事業	11,018	11,208	△190
	障害者サービス事業	154	154	0
	合計	32,158	32,651	△493
喜平	喜平図書館運営管理事業	25,200	25,510	△310
	郷土写真資料の収集・整理・保存事業	305	301	4
	合計	25,505	25,811	△306
上宿	上宿図書館運営管理事業	42,448	22,043	20,405
	新聞記事及びリーフレットの収集・整理・保存事業	1,219	1,239	△20
	合計	43,667	23,282	20,385
津田	津田図書館・公民館施設管理事業	14,632	13,936	696
	津田図書館運営管理事業	11,023	10,892	131
	合計	25,655	24,828	827
大沼	大沼図書館・公民館施設管理事業	14,124	14,206	△82
	大沼図書館運営管理事業	11,214	10,787	427
	合計	25,338	24,993	345
事業費合計		428,391	407,560	20,831

1 基本方針

(1) はじめに

図書館を巡る近年の国の動向としては、平成13年7月には文部科学省によって「公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準」が示され、同年12月には「子どもの読書活動の推進に関する法律」が、平成17年7月には「文字・活字文化振興法」が公布・施行されました。また、平成18年3月にはこれからの図書館の在り方検討協力者会議から「これからの図書館像―地域を支える情報拠点をめざして―」が報告され、これからの図書館サービスに求められる新たな視点が示されています。その要点は、「レファレンスサービスの充実と利用促進」「課題解決支援機能の充実」及び「紙媒体と電子媒体の組合せによるハイブリット図書館の整備」にあると言えます。さらに、教育基本法の改定を受けて、現在「図書館法」の改定作業が進んでおり、平成20年度中には制定されるものと思われます。

このような流れの中で、小平市としては平成18年3月に「小平市第三次長期総合計画―こだいら21世紀構想・前期基本計画―」を策定し、平成18年度から10年間の行政計画を定めています。その中で、図書館サービスの基本方針を次のように位置づけています。

(2) 前期基本計画における基本方針

- ① 市民や利用者にとっての便利で頼りになる新しい図書館サービスとして、図書資料や地域資料などの充実とともに、レファレンスサービスや児童サービスを、図書館の基幹的なサービスとして位置づけます。
- ② さらに、情報技術を駆使した図書館の情報機能の充実や情報基盤の整備を促進するとともに、学校図書館との連携を進めます。
- ③ また仲町図書館については、近隣の仲町公民館との建替え時期にあわせて施設の統合化を行い、情報技術により利用者の創造性をより高めていきます。
- ④ 今後、地域に関心が高まることが予想されるなかで、現存する貴重な資料を整備し、提供することにより、小平の市史の編さんを支援するなかで、貴重な歴史や文化を記録し、広く理解してもらうことを進めます。

さらに、平成19年度から行政評価システムの本格実施及び「小平市改革推進プログラム」の実施という具体的な目標管理が開始されました。

以上のような動向を踏まえ、平成20年度の事業計画を次のとおり定めます。

(3) 教育目標における図書館の施策

教育委員会の教育目標における図書館関連の推進事項として次の施策を掲げ、生涯学習と文化の振興を図ります。

- ① 資料・情報の提供
 - 図書資料の貸出及びサービス活動の拡充
 - 図書館資料の充実
 - レファレンス機能の充実
 - 情報基盤の整備
 - 学校図書館との連携促進
 - 学校図書館支援センター事業の推進

- 図書館ボランティアの参加促進
- 多摩六都図書館相互利用の推進
- ② 学習・文化施設の整備・充実
 - 図書館施設の整備及び維持管理
- ③ 地域資料の収集・整理・保存・公開
 - 古文書、新聞、写真
 - 地域資料、行政資料

2 推進事項

(1) 主要事業

今年度の主要事業は、次のとおりといたします。

- ① 地域の情報拠点として大きな役割を果たすために、地域資料・情報の充実と情報発信を進めます。
- ② レファレンスの機能を高め充実させるために、オンラインデータベースの導入を図ります。
- ③ 上宿図書館の空調機取り換え工事を実施します。
- ④ 小・中学校との連携を深め、学校図書館データ管理システムの運営を支援するために、学校図書館相談嘱託職員による巡回を実施します。
- ⑤ 学校図書館の支援を促進するために、「学校図書館支援センター推進事業（文部科学省委託事業）」を実施します。
- ⑥ 仲町図書館建替えのための検討を進めます。
- ⑦ 「小平市子ども読書活動推進計画」の改定作業に着手します。
- ⑧ 市史編さん事業との連携・協力

(2) 改革推進プログラム

小平市では、行財政の再構築を着実に進めるため、「行財政再構築方針」に基づき平成19年度から22年度までの4年間に取り組むべき項目を「改革推進プログラム」として定め、具体的な取り組み内容や推進担当課、計画年度等を明らかにしました。この中で図書館が推進担当課となっているものは、次のとおりです。

① 図書館施設の提供

実施目的：読書人口増加と市民との協力体制の確立に向け、市民の活動機会の提供を図る。

実施内容：図書館活動を推進する団体及びボランティア活動を行う団体に図書館施設（視聴覚室、館外奉仕室、対面朗読室等）を提供する。

	19年度	20年度	21年度	22年度
年度計画	検討	実施	実施	実施
			

② 図書館ボランティア事業の評価

実施目的：図書館ボランティア活動や事業の拡充・改善を図る。

実施内容：図書館ボランティア事業は、平成17年度から本格的に活動を開始し、現在、古文書解読、返却破損図書修理、児童図書リサイクル準備等の活動に取り組んでいるが、今後、活動内容のさらなる改善に向け、図書館ボランティアとともに活動や事業の評価を行い、その後の活動や事業の拡充・改善に活かしていく。

年度計画	19年度	20年度	21年度	22年度
	検討	試行	実施	実施
.....				

③ 図書館における多様な情報提供

実施目的：多様な情報を提供することにより、図書館サービスの充実を図る。

実施内容：市内図書館に市民開放用のパソコンを設置し、時代に即した最新の情報を提供する。

年度計画	19年度	20年度	21年度	22年度
	中央館導入			
		各地区館導入検討	各地区館導入検討	各地区館導入検討
.....				

④ 利用者アンケート調査の実施

実施目的：市民ニーズに応じたサービスの実施を図る。

実施内容：定期的に市内の図書館利用者に対するアンケート調査を実施し、事務事業評価に役立てることにより、図書館運営及びサービスの向上を図る。

年度計画	19年度	20年度	21年度	22年度
	検討	試行	実施	実施
.....				

3 実施事業

以上に掲げた主要事業および改革推進プログラムを推進するとともに、図書館がより豊かで質の高いサービスを提供できるよう情報技術の積極的な活用を図り、「利用しやすい図書館」「親しみやすい図書館」「資料が充実している図書館」の目標に沿って、多様化する市民ニーズに応えるために、次の具体的な事業を実施します。

(1) 図書館協議会の開催

図書館協議会（年6回開催）の意見を反映して、図書館サービスの向上を図ります。

(2) 蔵書管理

図書資料の購入、寄贈図書の入受、資料の除籍・廃棄、リサイクルを計画的に進め、的確な蔵書管理を行うとともに、利用者にとって魅力的で使いやすい書架づくりを行います。

- ① 図書の選書・発注・受入
- ② 蔵書データの整備
- ③ 図書の整理・補修
- ④ 除籍図書・寄贈図書のリサイクル
- ⑤ 未返却図書の督促（年10回）

(3) 図書資料等の収集・整理・保存・貸出

市民の生涯学習の多様化、高度化する資料要求に応えるために、より新鮮で魅力のある資料のそろっている図書館を目指して、各館の収集分担に沿って新刊図書等の収集を行います。

(4) 視聴覚資料の収集・整理・保存・貸出

多様な資料要求に応えるために、必要最低限の視聴覚資料を収集・整理し、中央図書館及び地区図書館でCDとカセットテープの貸出を行います。また、中央図書館では視聴覚資料の館内視聴を行うとともに、利用の多いCDの書誌データの整備を行います。

- ① 映像資料（ビデオテープ、DVD、レーザーディスク）
- ② 音声資料（CD、カセットテープ、レコード）

(5) 地域資料等の収集・整理・保存及びデジタル化

市民の郷土理解を深めるために、地域に関する資料及び古文書の収集・整理・記録及び保存を行います。また、地域資料のデジタル化を推進します。

- ① 地域資料
- ② 小平市及び図書館の関係新聞記事の切り抜き、整理、複写、製本、索引作成
- ③ 郷土写真（写真資料のデジタル化、市内定点撮影、古写真の整理・保存・展示）
- ④ 市報及び市内関係リーフレット、パンフレット、ポスター等
- ⑤ 特別文庫
- ⑥ 『古文書に見る小平の歴史—古文書目録・史料集解題—（仮題）』の出版
- ⑦ 地域資料のデジタル化
- ⑧ 市史編さん事業との連携・協力

(6) レファレンスサービス

利用者の資料相談に対応するために、各種辞典、事典、目録、索引、年鑑、統計書、法規類集及び文献等の参考図書を整備し、レファレンスサービスの充実を図ります。

- ① レファレンス資料の収集・整理・保存
- ② レファレンス事例のデジタル化の推進
- ③ インターネット開放端末の設置と運用（中央図書館に3台）
- ④ オンラインデータベースの提供（朝日新聞記事データベース 聞蔵Ⅱビジュアル、第一法規 法情報総合データベース D1-Law.com、国立印刷局 官報情報検索サービス）
- ⑤ 行政情報サービス及び調査支援の研究

(7) 講座・講演会等の開催

図書資料への理解を深めるために、講演会実施時のアンケート等を参考にして児童文学講演

会講座などを実施するとともに、読み聞かせ等の読書活動推進のための実践講座・学習会を行います。

- ① 児童文学講演会（年3回）・児童文学紀行講座の開催（年1回）
- ② 昔話講座の開催（年1回）
- ③ 読み聞かせ実践講座の実施（年1回）
- ④ ボランティア入門講座の開催（児童青少年向き・夏期）
- ⑤ おはなし学習会の実施（中央図書館・地区図書館で開催）

（8）展示会等の開催

児童文学に関する紀行写真展や絵本原画展等の本に親しむ機会の提供、全国の新聞を集めた新聞展等を行います。

- ① 図書資料展示会の開催（年2回）
- ② ふるさとの新聞元旦号展（中央図書館・大沼図書館）

（9）児童サービス

乳幼児から児童、青少年までを対象に、おはなし会などの本に親しむ機会の提供や絵本展示会を実施し、また、ブックリストの作成・配布を行います。

- ① 子ども読書活動の推進に関する啓発事業「こだいら子ども読書月間」（4月～5月）等の実施
- ② 「小平市子ども読書活動推進計画」の改定
- ③ おはなし会の実施（全館・定例）
- ④ 絵本のへやの実施（全館・定例）
- ⑤ 夏休みおすすめ本リストの作成・配布（市内全小中学校対象）
- ⑥ 学校課題図書及び夏休み図書館推薦図書の別置
- ⑦ 乳幼児に対する推薦図書リストの配布及び読み聞かせの実践
- ⑧ 子ども文庫への図書団体貸出

（10）小中学校との連携促進

図書館を活用した学習の支援と児童・生徒の読書活動促進のため、学校図書館システムの活用支援や、学校図書館との連携を進めます。

- ① 図書館見学・職場体験学習の受入れ
- ② 学級文庫への図書団体貸出・読み聞かせ等への支援
- ③ 学校図書館との連携の強化
- ④ 学校が進める総合的な学習及び教科の学習支援
- ⑤ 学校図書館相談嘱託職員の巡回
- ⑥ 学校図書館支援センター推進事業の実施（平成18年度から3年間）

（11）障がい者・高齢者サービス

すべての人が利用しやすい図書館にするために、図書館利用に障がいのある方も利用できるような図書資料の提供と環境整備を進めます。

- ① 大活字本、点字図書の購入
- ② 布の絵本（さわる絵本）、拡大写本の作成、貸出及びPRの推進
- ③ 録音図書（カセットテープ等）の作成及び貸出
- ④ 対面朗読の実施（中央図書館）

- ⑤ 在宅障がい者への図書資料の郵便等による送付サービスの実施
- ⑥ 福祉講演会（小川西町図書館）
- ⑦ 障がいをもった児童・生徒に対する読み聞かせの実施
- ⑧ 点字図書目録（点字版）及び点訳絵本の作成
- ⑨ 障がい者宅配サービスの研究
- ⑩ 障がい者対象図書資料展示（小川西町図書館）
- ⑪ 障がい者、ボランティアとの連絡会の実施

（12）複写サービス

著作権法に基づいて図書館資料の複写サービスを行うとともに、集会室利用者のための複写サービスを行います。

- ① 図書館資料の複写サービス
- ② 図書館集会室利用者への複写サービス（喜平図書館・上宿図書館）

（13）リクエストサービス

利用者の多様な資料要求に迅速に対応し、資料・情報の提供に努めます。

- ① 所蔵図書の利用予約（貸出予約）
- ② 未所蔵図書の購入（リクエスト購入）
- ③ 相互利用による資料の貸借の促進

（14）広域利用の推進

都立図書館、多摩六都（小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市）をはじめ公立図書館との相互協力による利用サービスを推進します。

- ① 都立図書館及び多摩地域公立図書館との相互貸借の推進
- ② 都立図書館とのインターネットによる図書資料情報ネットワークの推進
- ③ 多摩六都の公立図書館との相互協力による利用サービス及び連携の推進

（15）図書館関係団体に対する援助・連携

図書館の関係団体として活動している小平市子ども文庫連絡協議会等との連携を図り、幅広い図書館活動を推進します。

- ① 補助金の交付（小平市子ども文庫連絡協議会）
- ② 事業活動への協力及び共催事業の開催

（16）図書館ボランティアの参加促進

図書館の活性化と地域コミュニティ活動の推進を図るために、世代を超えた交流の場を目指した図書館ボランティアの参加を促進します。

- ① 図書の補修・リサイクルの準備
- ② 古文書整理
- ③ 地域情報のデジタル化

（17）図書清掃の実施

資料保存対策の一環として返却図書等の清掃を行い、貴重な資料がより長く気持ちよく使えるように心掛けるとともに、効率的な排架を行うために清掃済みの資料を分類順に排列します。

- ① 中央図書館の図書清掃（週6回）
- ② 地区図書館の図書清掃（週3～4回）

(18) 施設の運営管理

利用者の方々が気持ちよく安全に利用できるように、定期的に施設や設備の点検を行い、優先順位を決めて修繕計画を進めます。

- ① 各図書館・分室、東部・西部市民センターの維持管理
- ② 集会室の維持管理・貸出（喜平図書館、上宿図書館）
- ③ 仲町図書館建替えの検討
- ④ 上宿図書館の空調機取り換え工事の実施

(19) 図書館施設の提供

市民の活動機会の提供を図り、読書活動と市民との協力体制を推進するため、図書館活動や読書活動を推進する団体に図書館施設（視聴覚室、館外奉仕室、対面朗読室等）を提供します。

(20) 実習生及び職場体験学習等の受入れ

図書館活動に対する理解者を増やすとともに、将来の図書館活動を担い支援する人材の育成を図るために、実習生及び職場体験学習等を受入れます。

- ① インターンシップ・図書館実習生（大学生等）の受入れ
- ② 図書館見学・職場体験学習及び視察等の受入れ

(21) 職員研修及び実務研修等

図書館職員としての専門知識と技術を習得し、より良い図書館サービスを実現するため、計画的に研修計画を立てて職場研修を実施するとともに、実務研修等に積極的に参加して知識や情報の共有を図ります。

- ① 司書資格取得講習会への派遣（3名）
- ② 全体研修会の開催（年4回）
- ③ 実務研修・各種研究会への参加
- ④ 各種職場研修の実施

(22) 広報活動

図書館の活動内容を広く市民に伝え、より多くの人に図書館サービスを利用してもらうとともに、図書館への理解と関心を深めるために、広報活動を行います。

- ① 「小平市図書館だより」の発行（年2回）
- ② 図書館紹介、利用案内、図書館カレンダー等の作成・配布
- ③ 新刊・新着図書案内の発行
- ④ 市報等の活用（「図書アラカルト」、行事等）
- ⑤ 図書館ホームページの整備・活用
- ⑥ 「夏休み家族一日図書館員」の開催

(23) 利用者アンケート調査

図書館運営及びサービスの向上を図るため、アンケート調査を行います。

この1年間の事業の成果

1 図書館協議会の開催

図書館協議会は、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕について、館長に対し意見を述べる機関として、図書館法第14条第1項の規定により小平市立図書館条例第9条に設置を定めている諮問機関です。今年度の主な審議案件は、次のとおりです。

【表4】 図書館協議会の審議案件

回	開催日	審議案件等
1	平成20年5月22日 (木)	(1)報告事項 ○職員の人事異動について ○図書館運営状況について ○平成19年度図書館事業報告について ○平成19年度学校図書館支援センター推進事業について ○平成20年度蔵書点検について ○平成20年度司書講習への職員派遣について ○平成20年度ブックリサイクル事業について ○平成20年度子どもの読書推進活動優良実践図書館文部科学大臣表彰受賞について
2	平成20年7月24日 (木)	(1)報告事項 ○職員の人事異動について ○図書館運営状況について ○蔵書点検結果について ○上宿図書館臨時休館について ○実習生の受入れについて ○利用者アンケート調査について
3	平成20年9月25日 (木)	(1)報告事項 ○図書館運営状況について ○実習生の受入れについて ○市議会9月定例会について ○ブックリサイクル事業について ○行財政再構築プランの進捗状況について ○事務事業評価について
4	平成20年11月6日 (木)	(1) 報告事項 ○図書館運営状況について ○平成19年度決算特別委員会について ○教育委員の就任について ○市史編さん室の設置について
5	平成21年1月29日 (木)	(1)報告事項 ○図書館運営状況について ○市議会12月定例会について ○ふるさと新聞元旦号展について ○中央図書館改修工事について

6	平成21年3月19日 (木)	(1)報告事項 ○図書館運営状況について ○市議会3月定例会について ○小平市子ども読書活動推進計画について ○学校図書館支援センター推進事業について ○ブックリサイクル実施状況について ○小平市図書館協議会公募委員選考結果について (2)協議事項 ○平成21年度小平市立図書館事業計画(案)について ○平成21年度小平市図書館協議会日程(案)について
---	-------------------	---

2 蔵書管理

(1) 図書の選書・発注・受入

児童・一般の各館担当者が、日々、さまざまなメディアの出版情報をもとに、選書を行います。また、新刊本については週1度、選書会議を行っています。

現在、小平市図書館の資料は、(株)図書館流通センター、小平書店会、紀伊國屋書店及び直販店から購入し、発注から装備納品まで1週間程度と、スピーディな受け入れに努めています。

(2) 蔵書データの整備

現在の書誌データ(資料の書名・著者名・出版社などの目録上の記録)には、同一書誌が重複して登録されているものがあるため、それらを随時訂正及び統合して書誌データの整備を進めました。

また、簡易な書誌データは、より詳細で検索しやすいデータに訂正しました。

(3) 図書の整理・修理

長期にわたる保存や頻繁に行われる貸出や交換便による移動等により、新しい資料等であっても経年劣化し、汚損・破損を受けるものが多いが目立ちます。

新規に買い替えの他、絶版等により新規購入ができないもの等について、手作業で補修・修理等を施して資料の確保・保存・貸出に対応しました。

修理の一部は、図書館ボランティアが行いました。

【表5】 資料等補修・修理実績(中央図書館)

内 訳	件 数
ボランティア	882
資 料 係	1,393
合 計	2,275

(4) 除籍資料・寄贈図書のリサイクル

① 除籍資料

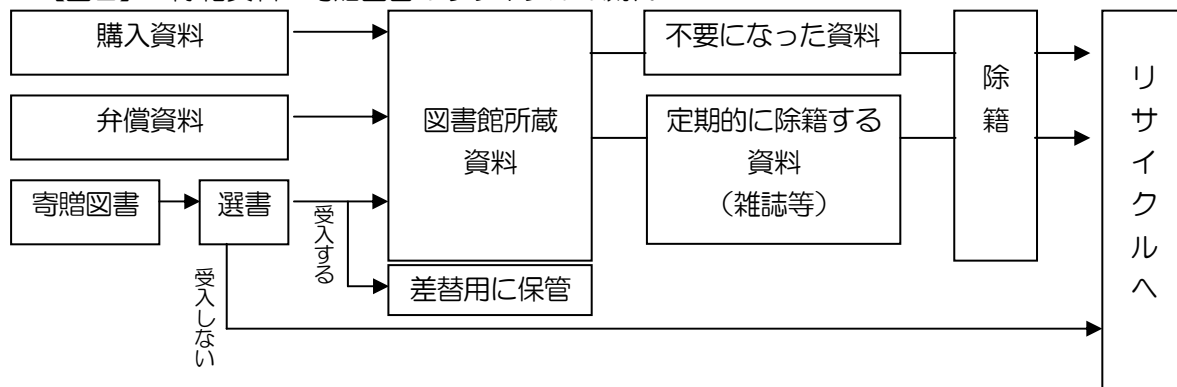
図書や雑誌、CD等の図書館資料は、さまざまな理由で壊れたり汚れたり、内容が古くなって使えなくなってしまうことがあります。また、貸出や交換便による移動等によって、徐々に傷んでいくため、資料の状態に応じて除籍・廃棄していく必要があります。また、書架の収容能力にも限界があるため、随時資料の点検と再評価を行って、計画的な除籍・廃棄を行っています。

② 寄贈図書を受入れとリサイクル

寄贈図書のうち平成20年度に図書館資料として受け入れたのは、4,357冊です。

図書館資料として受け入れなかった寄贈図書は、各館で随時リサイクル資料として市民に提供しています。

【図2】 除籍資料・寄贈図書のリサイクルの流れ



【表6】 除籍件数

除籍の内訳	件数
複本・不要	39,042
亡失	2,439
汚損・破損	7,887
紛失	263
その他	241
合計	49,872

③ ブック・リサイクル事業

ブック・リサイクル事業は3回実施し、寄贈資料の一部及び除籍資料の内、複本・不要除籍の資料を提供しました。提供した資料の合計は36,524冊でした。

この事業によって、図書館が所蔵する資料を絶えず更新し、書架スペースの確保に努め、効率的な蔵書管理を図りました。さらに、リサイクルという時代の要請に応え、資源の有効活用を目指しています。

【表7】 ブック・リサイクル事業の実績 (単位：冊)

開催日	対象	提供した冊数
平成20年10月18日(土)	一般書・児童書	14,215
平成21年1月17日(土)	雑誌・週刊誌	11,699
平成21年2月21日(土)	一般書・児童書	10,610
合計		36,524

(5) 未返却図書の督促(年10回)

借用者に対する未返却図書返却のお願いを、1月と蔵書点検を実施した10月を除いて10回、計7,080件発送しました。

長期延滞者とリクエスト資料の延滞者に対しては電話による督促を行いました。

貸出時に未返却資料のある方に対しては、随時督促を行いました。

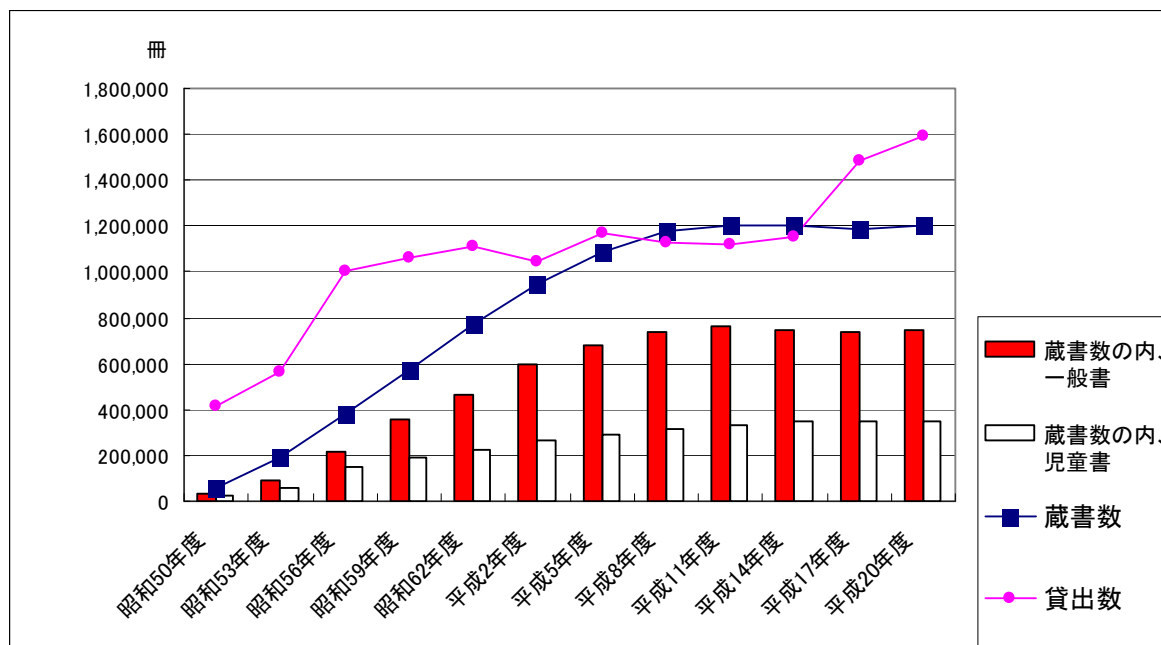
3 図書資料等の収集・整理・保存・貸出

(1) 資料収集と蔵書構成

小平市立図書館の開館以来の基本方針として「資料のそろっている図書館」を目指して運営しており、「小平市立図書館サービス計画」の基本方針に沿って、豊かで質の高いサービスを提供するために資料・情報の充実に努めました。

しかし、図3に見るように平成11年度には蔵書数が120万冊となり、収容能力が限界に到達しています。このため、平成13年度以降ブック・リサイクルを実施し、蔵書冊数の調整を行っています。また、昭和50年度の開館当初は児童書が全蔵書の47.2%を占め一般書とほぼ肩を並べていましたが、昭和62年度には一般書の半分以下となり、平成20年度は全蔵書の29.1%を構成しています。

【図3】 蔵書数・貸出数の推移



また、図4及び図5を見ると一般書と児童書の蔵書構成の違いが現れています。一般書は、文学が36.3%を占め、語学が1.8%と少ないですが、それ以外は3%~11%の間となっています。これに対し児童書は、文学と絵本で全体の73.1%を占め、次に多いのが自然科学で8.3%です。その他は4%以下で、哲学・宗教、家事、語学の3分野は1%以下となっています。

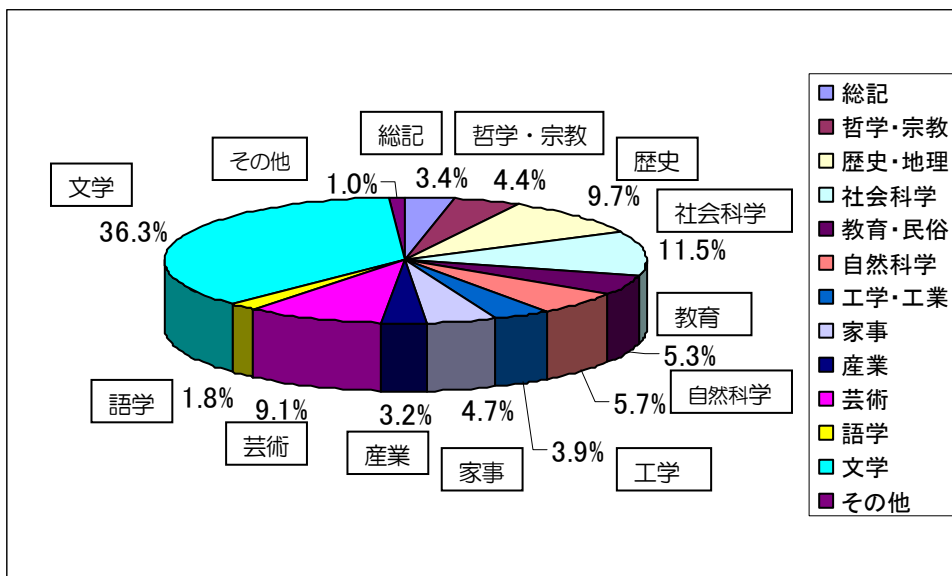
(2) 雑誌

- ① 原則としてタイトル数の増加はせず、複本で所蔵があるもの、休刊・廃刊等になったものを中心に見直しを行いました。平成20年度からの購入中止雑誌は11誌、休刊・廃刊雑誌は17誌、新規購入雑誌は21誌となりました。
- ② 中央図書館の参考室には、データ登録をしていないものの、受入・整理している寄贈雑誌が95誌あり、特別貸出で対応しています。

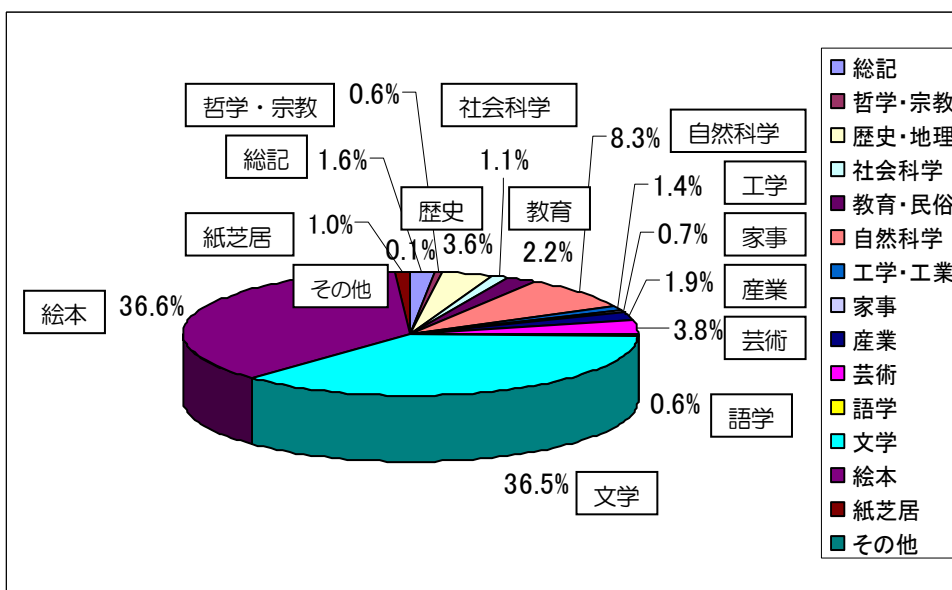
(3) 新聞

主要6紙は市内8図書館で所蔵し、縮刷版は各館で分担収集しています。

【図4】 一般書分類別所蔵資料率



【図5】 児童書分類別所蔵資料率



4 視聴覚資料の収集・整理・保存・貸出

(1) 映像資料 (DVD・レーザーディスク・ビデオテープ)

- ① 映画・教養 (記録)・児童等の各ジャンルより選定し、DVD80点をMARC (コンピュータで処理可能な形式の目録)・装備付で購入しました。これらはすべて館内・館外貸出の著作権許諾済みのものです。
- ② 館内利用はDVD1, 482点、レーザーディスク715点、ビデオテープ1, 266点でした。

(2) 音声資料 (CD・カセットテープ)

- ① ポピュラー (邦楽・洋楽)・クラシック・児童・朗読・演歌・学芸・教養等の各ジャンルより選定し、CD217点、カセットテープ41点を購入しました (うちカセットテープは点訳)

サークルボランティアによる点字シールの貼付)。

② 朗読CDは素納品購入のため自館装備をし、それ以外はMARC・装備付で購入しています。

5 地域資料等の収集・整理・保存及びデジタル化

市民の小平への理解を深めるために、地域に関する資料及び古文書の収集、整理、記録及び保存を行います。また、地域資料のデジタル化を推進しました。

地域資料は、「図書館サービス計画」の「図書以外の資料収集分担表」に従い、全館で分担収集しています。平成20年度末の所蔵資料の点数は次のとおりです。

【表8】 所蔵資料数 (平成21年3月31日現在)

館名	資料名	開始年月	資料数
全館	地域資料(地図・行政資料を含む)	昭和50年4月	61,277
中央図書館	特別文庫	昭和60年7月	21,049
	古文書	昭和50年9月	27,305
仲町図書館	タウン誌・地域情報誌	昭和61年1月	5,663
花小金井図書館	地域の広告、チラシ	昭和54年4月	55,890
喜平図書館	郷土写真(定点写真5,438点を含む)	昭和53年7月	53,323
	郷土写真のデジタル化	平成14年4月	15,622
上宿図書館	地域の新聞記事切り抜き	昭和52年2月	55,719
津田図書館	地域のポスター	昭和63年3月	5,140
大沼図書館	市内在住著作者資料	昭和60年7月	2,472
合計			303,460

(1) 地域資料

地域資料の所蔵資料数は61,277冊で、前年度と比べて2,044冊の増となりました。その内訳は購入576冊、寄贈3,021冊、小平市立図書館刊行物63冊です。また、複本や合冊製本によって除籍した資料数は1,616冊です。

【表9】 地域資料の所蔵資料数 (単位:冊)

年度	受入資料数	除籍資料数	資料総数
平成18年度	2,668	488	58,954
平成19年度	2,108	1,829	59,233
平成20年度	3,660	1,616	61,277

【表10】 地域資料分類別受入資料数 (単位:冊)

分類	冊数	分類	冊数	分類	冊数	分類	冊数
A 総記	353	I 財政	275	O 教育	168	U 公害・災害	323
B 歴史	262	J 経済	19	P 文化施設	151	V 産業	111
D 地理	398	K 統計	129	Q 自然科学	42	W 交通・運輸	31
E 民俗	75	L 社会	218	R 土木・建築	32	Y 文学・芸術	50
F 議会	80	M 労働	51	S 都市施設	85	Z 特別コレクション	27
G 行政	325	N 福祉	280	T 保健衛生	175	合計	3,660

(2) 小平市及び図書館の関係新聞記事の切り抜き、整理、複写、製本、索引作成

小平の地域や図書館に関する新聞記事の切り抜きは、昭和52年2月に小平市図書館（現在の仲町図書館）で開始し、昭和54年度からは花小金井図書館が、平成16年度からは上宿図書館が引き継いでいます。

上宿図書館で原紙の新聞記事を切り抜き、台紙に貼ったものを製本しています。製本した切り抜きは現在174冊で、53,953点の切抜記事を収録しています。また記事索引の作成も併せて行っています。

平成20年度の小平市及び図書館関係記事の収集件数は、1,766件でした。

(3) 郷土写真（写真資料のデジタル化、市内定点撮影、古写真の整理・保存・展示）

郷土写真事業は、昭和52年に開催した郷土写真展を契機に、昭和53年度から開始しました。昭和56年度からは喜平図書館、平成16年度からは上宿図書館で定点撮影を担当しています。

定点撮影、テーマ別撮影、秘書広報課から移管した写真の合計は、現在53,323点です。

- ① 定点撮影は上宿図書館が、秘書広報課から寄託されたポイント写真520か所（昭和57年撮影）について、平成18年度から5年計画で撮影を行っています。
- ② 上宿図書館では、図書館定点撮影地点96か所についても撮影を行いました。
- ③ 郷土写真のデジタル化は喜平図書館で行っており、平成20年度は4,321点のデータ入力が行われ、現在約15,622点のデジタル化が完了しています。

(4) 市内関係リーフレット、パンフレット、ポスター等

- ① 新聞に折り込まれた広告（チラシ）の収集は、地域や時代を伝える資料として有効です。昭和54年度から花小金井図書館で収集をしています。今年度は新たに1,890枚の広告を収集、整理しています。
- ② 収集した広告は「小平市リーフレット分類表」に従って分類整理し、『小平市リーフレット(広告)』として製本しています。平成20年までに製本された279冊の冊子は中央図書館で保存・提供しています。
- ③ ポスター収集事業は、昭和63年度から津田図書館で開始したもので、今年度は434枚を新規に収集、整理し、現在5,140枚のポスターを収蔵しています。

(5) 特別文庫

中央図書館では、久下司氏旧蔵書の久下文庫と伊藤好一氏旧蔵書の伊藤文庫を特別文庫として保存しています。

① 久下文庫

昭和58年から平成3年にかけて調査を行い、『久下文庫所蔵目録Ⅰ～Ⅳ』を刊行しています。収録数は、図書6,161冊、雑誌3,335冊です。昭和60年の中央図書館開館に伴い特別文庫室に収蔵され、昭和63年に図書館に寄託されました。久下司氏は平成7年に亡くなられ、全蔵書が寄贈されました。和漢書の貴重書及び貴重書に準じるものについては、『久下文庫和漢書目録』、『久下文庫和漢書目録 続編』を刊行しています。

② 伊藤文庫

伊藤文庫は、『小平町誌』の編さんに尽力され、近世史の研究にも大きな功績を残された伊藤好一氏の旧蔵書で、平成11年に当館に寄贈されたものです。この貴重な蔵書は、平成13年から16年にかけて関東近世史研究会によって整理され、図書8,273冊、雑誌3,280冊のカード目録が作成されています。

(6) 古文書

古文書は、現在までに26家、27,305点の資料の整理が終了し、目録が整備されています。中央図書館の地域資料室で複写版を閲覧することができ、古文書に関するレファレンスにも応じています。また、史料集は30集まで刊行しています。

平成20年度は、古文書目録のあとがきや解題を新田の開発順に並べ替え、編集したものを「小平の歴史を拓く(上)ー古文書目録解題編ー」として刊行しました。

(7) 地域資料のデジタル化

- ① 平成20年3月に、図書館ホームページに公開した「小平市及び図書館の関係新聞記事の記事索引」の新聞記事検索の検索プログラムを一部変更し、10月からは検索が簡単にできるようになりました。また、平成15年から平成20年までの新聞記事データのデジタル化が完了して、図書館ホームページに公開するための準備が整いました。
- ② 「市報こいだいら」に掲載されている図書館資料の紹介コラム「図書アラカルト」のデジタル化が完了し、図書館ホームページに公開しました。「図書アラカルト」は、5年ごとに区切り、見やすく、活用しやすいように工夫しました。また、一般図書と児童図書を別にした「書名目次」を作成しました。
- ③ 「小平市図書館だより」の58号(平成20年3月発行)と59号(平成20年9月発行)を図書館ホームページに掲載しました。

6 レファレンスサービス

利用者のレファレンスに対応するために、各種年鑑、白書、辞典、事典、統計書等の参考図書を整備し、利用者の参考調査の充実に努めました。また、中央図書館参考図書室のインターネット検索のできるパソコンの活用を図りました。

(1) レファレンス業務の充実

- ① 平成17年度から市内全図書館でレファレンスの受付件数を記録しています。所蔵調査等を記録することが定着し、各図書館でも記録を始めています。
- ② 職員全員が利用者のレファレンスに対応できるように基礎的な研修を行い、レファレンス業務の向上を図りました。

【表 11】レファレンス統計の推移 (単位：件)

年 度	中 央		地区館		合 計		全合計
	所蔵	参考	所蔵	参考	所蔵	参考	
平成16年度	7,781	594	—	—	7,781	594	8,375
平成17年度	15,984	775	15,425	268	31,409	1,043	32,452
平成18年度	8,381	316	15,439	143	23,820	459	24,279
平成19年度	11,201	83	22,522	144	33,723	227	33,950
平成20年度	8,856	222	18,759	167	27,615	389	28,004

【表 12】レファレンス記録票件数の推移(記録票に記入された事例件数) (単位：件)

年 度	中 央		地区館		合 計		全合計
	所蔵	参考	所蔵	参考	所蔵	参考	
平成16年度	102	78	—	—	102	78	180
平成17年度	140	64	129	3	269	67	336
平成18年度	178	52	11	0	189	52	241
平成19年度	96	52	11	12	107	64	171
平成20年度	149	66	78	33	227	99	326

(2) レファレンス資料の収集・整理・保存

- ① 平成20年度は白書、継続資料や買い替え資料を中心に236冊を参考資料として受け入れました。購入は195冊、合冊製本したものの2冊、寄贈図書から参考資料として活用できるものを39冊受け入れました。
- ② 中央図書館の参考図書の更新を図るため、内容情報や統計資料の古いものについては、書庫へ配置換えしました。

(3) レファレンス事例のデジタル化の推進

小平市立図書館の参考業務のなかで実際に調査した「小平に関する地域関係レファレンス」事例について、資料・内容の確認作業を進め、平成21年3月に図書館ホームページへ「小平に関するレファレンス事例集」として10点の事例を公開しました。

(4) インターネット開放端末の設置と運用（中央図書館に3台）

中央図書館参考図書室にインターネットに接続できる端末2台と商用データベースを検索できるパソコン1台を設置しています。平成21年3月に利用者が安心して活用できるよう、ウィルス対策ソフトを導入して、セキュリティの強化を行いました。

【表 13】 インターネット開放端末利用件数の推移 (単位：件)

年 度	インターネット端末 (2台)	商用データベース端末 (1台)	合 計
平成19年度	1,855	79	1,934
平成20年度	2,751	77	2,828

(5) オンラインデータベースの提供

平成19年度から引き続き、朝日新聞記事データベース「聞蔵Ⅱビジュアル」(朝日新聞)、法情報総合データベース(第一法規)、「官報情報検索サービス」(国立印刷局)の3種が検索でき、複写サービスも提供しています。

(6) 行政情報サービス及び調査支援の研究

商用データベースを活用した情報提供など、市役所職員に向けての資料・情報提供を行いました。

7 講座・講演会等の開催

図書資料や読書活動への理解を深めるために、講演会実施時のアンケート等を参考にして児童文学講演会・講座などを実施するとともに、読み聞かせ等の読書活動推進のための実践講座・学習会を行いました。

(1) 児童文学講演会(年3回)・児童文学紀行講座の開催(年1回)

児童文学や絵本に関する講演会・講座のほか、子ども科学講演会、大人対象のおはなし会を2回開催しました。

【表14】講演会・講座の内容

開催日	講演会・講座名	対象・参加人数
平成20年 9月30日	児童文学講演会「絵本とわたし」 (松居直氏)	一般・101人 (中央図書館)
平成20年10月25日	児童文学講演会「科学と文学の出会い ジュール・ヴェルヌ『海底2万里』が 生まれるまで」(朝比奈美知子氏)	一般・45人 (津田図書館)
平成21年 2月12日	児童文学講演会「スライドで訪ねる『星 の王子さま』の世界」(池田正孝氏)	一般・69人 (中央図書館)
平成20年10月23日 平成20年10月30日	児童文学紀行講座「絵本で旅するスペ イン」(全2回)	一般・延べ69人 (中央図書館)
平成20年 8月23日	子ども科学講演会「おりがみ『夏のえ につき』」(津野照子氏)	小学生とその家族25人 (上宿図書館)
平成20年 7月 3日	大人のためのおはなし会 (第1回)	一般・18人 (大沼図書館)
平成20年11月13日	大人のためのおはなし会 (第2回)	一般・28人 (中央図書館)

(2) 民話講座の開催 (年1回)

全3回の民話講座「小平むかしむかし～小平の民話とちょっと昔のおはなしあれこれ～」では、市民の方を講師に迎え、小平の「ちょっと昔」を語っていただきました。

【表15】民話講座の内容

開催日	講座名	対象・参加人数
平成20年11月27日	「小平の民話とちょっと昔」 (今井美代子氏)	一般・延べ139人 (中央図書館)
平成20年12月 4日	「玉川上水今昔」(庄司徳治氏)	
平成20年12月11日	「在りし日の範多農園～ハンス・ハン ターを追って～」(中込敦子氏)	

(3) 読み聞かせ実践講座の実施 (年1回・中央図書館)

小学校などで子どもたちに読み聞かせをしている方、これから実演の予定のある方を対象に開催しました。

【表16】読み聞かせ実践講座の内容

開催日	講座名	対象・参加人数
平成20年 5月22日	読み聞かせ実践講座 (全3回)	小学校などで絵本の読 み聞かせをしている 方・延べ94人
平成20年 5月29日		
平成20年 6月 5日		

(4) ボランティア入門講座の開催 (児童青少年向き・夏期)

小学校5年生から大学生までを対象に、中央図書館で「夏休み図書館ボランティア体験講座」を開催しました。今年で5回目の開催で、小学生から大学生までの20人が参加し、説明会を含

めて6回の講座に延べ98人が参加しました。内容は、児童図書の排架、おはなし会のおみやげ作り、ポスターの作成、児童向けおはなし会の誘導等で、作成した「おはなし会」の案内ポスターは、児童コーナーに展示しました。

(5) おはなし学習会の実施（中央図書館・地区図書館で開催）

質の高いおはなし会を実施するために、図書館の児童担当職員と小平市子ども文庫連絡協議会のおはなし担当者を対象に「おはなし（ストーリーテリング）」を実演し、専門講師の指導を受ける学習会を開催しました。開催回数は8回で、延べ257人が参加しました。また、ベテランの担当者のアドバイスによる「おはなし自主学習会」を24回実施し、おはなし会で絵本の「読み聞かせ」を担当する職員全員が学習できる機会を設け、より専門性の高いサービスに努めました。自主学習会の参加者は、延べ330人です。

8 展示会等の開催

児童文学に関する紀行写真展や絵本原画展等の本に親しむ機会の提供、全国の新聞を集めた新聞展等を行いました。

(1) 図書資料展示会の開催（年2回）

今年度は1回でしたが、児童文学ゆかりの土地を訪ねた『星の王子さま』の世界』の写真展を、中央図書館2階展示コーナーで開催しました。これに併せ、関連図書の展示と児童文学講演会も行いました。

(2) ふるさとの新聞元旦号展（中央図書館、大沼図書館）

地方新聞社の元旦号の新聞の提供を全国の新聞社に依頼し、58紙の寄贈を受けて展示を行いました。また期間中、地方出版物の展示・貸出も併せて行いました。中央図書館では、平成21年1月5日（月）から1月14日（水）まで、大沼図書館では、1月17日（土）から1月22日（木）まで開催しました。

9 児童サービス

(1) 子ども読書活動の推進に関する啓発事業「こだいら子ども読書月間」（4月～5月）等の実施
「こだいら子ども読書月間」として、4月1日（火）から5月6日（火）まで、市内全図書館で13件の「子ども読書の日」に関する事業を開催しました。内容としては、児童図書の展示、絵本の読み聞かせ、土曜日版「絵本のへや」、布の絵本の展示などです。

(2) 「小平市子ども読書活動推進計画」の改定

「小平市子ども読書活動推進計画」は、「文字・活字文化振興法」の成立や「図書館法」の改正などの動きをはさみ、平成18年から3年間の「学校図書館支援センター推進事業」を実施するなかで、計画期間を2年間延長しました。国においては第2次となる「子どもの読書活動の推進に関する計画」を平成20年3月に策定し、政府としての基本方針を明らかにしています。「小平市子どもの読書活動推進計画」は、平成21年度で第1次の計画期間が終了することから、計画の改定にあたり「策定方針」を定めました。平成22年度からの5年間を計画期間とし、市民からの意見・要望を広く収集しながら改定を進めていくこととなっています。

(3) おはなし会の実施（全館・定例）

児童を対象に4歳から1年生、小学生と2回に分け、おはなし（ストーリーテリング）と絵

本の読み聞かせを行っています。

【表 17】 おはなし会の開催回数と参加人数

館 名	低学年		高学年		合 計	
	開催回数	参加人数	開催回数	参加人数	開催回数	参加人数
中央図書館	44	923	44	281	88	1,204
仲町図書館	23	172	23	131	46	303
花小金井図書館	23	368	23	221	46	589
小川西町図書館	23	109	23	130	46	239
喜平図書館	23	433	23	191	46	624
上宿図書館	23	306	23	176	46	482
津田図書館	23	200	23	114	46	314
大沼図書館	23	281	23	155	46	436
合 計	205	2,792	205	1,399	410	4,191

(4) 絵本のへや

手遊び、わらべうたなども取り入れ、0～3歳児とその保護者を対象に実施しています。今年度は、延べ96回開催し、1,791人の参加者がありました。この「絵本のへや」は、乳幼児への読み聞かせと絵本の紹介の場所であると同時に、母親たちの仲間づくり、情報交換の場としての役割も果たしています。また、3～4か月児健診時にも紹介し、参加を呼びかけています。

【表 18】 絵本のへやの開催回数と参加人数

館 名	開催回数	幼児参加人数	大人参加人数	合 計
中央図書館	12	150	140	290
仲町図書館	12	75	62	137
花小金井図書館	12	126	119	245
小川西町図書館	12	67	61	128
喜平図書館	12	298	280	578
上宿図書館	12	69	61	130
津田図書館	12	70	53	123
大沼図書館	12	83	77	160
合 計	96	938	853	1,791

(5) 夏休みおすすめ本リストの作成・配布（市内全小中学校対象）

図書館が作成した小学生向き、中学生向き「おすすめ本」紹介リストを市内の小中学校の児童・生徒に配布しました。リスト掲載の資料は、夏休みの期間中、別置き（小学生向き1,529冊、中学生向き336冊）、貸出を行いました。

(6) 学校課題図書及び夏休み図書館推薦図書の別置

各図書館が担当する地域の小中学校から課題図書のリストをいただき、夏休み期間中は、児童コーナーに図書を別置して貸出を行いました。

(7) 乳幼児に対する推薦図書リストの配布及び読み聞かせの実践

- ① 健康センターの3～4か月児健診時、児童担当職員1～2人が待ち時間等を利用して、絵本の紹介や絵本リスト「よんでよんでの絵本みつけた」の配布を行っています。
- ② 来場している赤ちゃんや兄弟姉妹に読み聞かせの実演をしたり、図書館行事「絵本のへや」の紹介をするなど、幼いころから本に親しむことの大切さを呼びかけています。今年度は、3,215人の親子に実施しました。

(8) 子ども文庫への図書団体貸出

小平市子ども文庫連絡協議会の子どもの文庫に児童図書の団体貸出を行い、文庫の総蔵書数は現在4,298冊となっています。今年度は、市内の4つの子ども文庫で延べ1,024人の子どもに合計1,646冊の図書を貸出しました。

10 小中学校との連携促進

(1) 図書館見学・職場体験学習の受入れ

- ・市内の小学校の図書館見学を受け入れ、今年度は17校の43学級1,403人の児童が参加しました。
- ・中央図書館と地区図書館で小学校2校8人、中学校延べ20校52人の職場体験を受け入れ、図書館のカウンターサービスなどを実際に体験してもらいました。

(2) 学級文庫への図書団体貸出・読み聞かせ等への支援

学級文庫への図書団体貸出

対象：市内の子ども文庫、市内の小中学校、小平市立学童クラブ、その他読書に関する団体で、教育委員会が認めるもの

選本：申請者が選本。各団体50冊以内。

期間：3か月＝学期単位

方法：学年が3クラス以上の場合は、1学期ごとにクラスごとに入れ替え、3学期末に返却。

今年度は、小学校16校へ12,756冊の図書の貸出がありました。

(3) 学校図書館との連携の強化

年1回、市内小中学校の図書館担当教諭との連絡会議を開催し、意見交換、情報交換の場として、相互理解・協力体制を深めています。

(4) 学校が進める総合的な学習及び教科の学習支援

調べ学習用に図書館が図書の貸出を行っています。今年度は小学校16校へ5,257冊、中学校5校へ571冊の図書を、学校図書館支援センター推進事業による「学校図書館図書配送システム」を利用して貸出しました。

(5) 学校図書館相談嘱託員の巡回

平成18年度から図書館に学校図書館相談員2人を配置し、小中学校を巡回して学校図書館を支援しています。相談内容は、学校図書館システムの操作、図書の排架・整理、図書館活動などで、延べ303回巡回しました。

(6) 学校図書館支援センター推進事業の実施（平成18年度から3年間）

本事業は、文部科学省の委託事業として、平成18年11月に開始し、学校図書館協力員を全

中学校に配置し、平成19年1月からは学校図書館配送システムの試行を行いました。

平成20年度は学校図書館協力員の欠員を公募し、市内全中学校に配置して、引き続き図書配送システムの試行を行いました。

平成20年度で事業は終了しましたが、3年間の事業の中では、協力員の配置によって学校図書館が開き、学校の読書活動に対する取り組みが積極的になり、学校図書館運営が軌道に乗ってきたことなど大きな成果がありました。生徒の読書活動も活性化され、貸出冊数も順調に増えました。配送システムによる調べ学習用図書の団体貸出も活発な利用があり、学校と公共図書館の連携が進みました。

① 事業の目的

学校教育の質の向上に向けた学校図書館の効果的な活用・運営を図るため、学校図書館支援センターによる学校図書館の活用・運営への支援の在り方について、実践的な調査研究を行いました。

② 事業の主な内容

学校図書館の活用を図るために図書館協力員を市内全中学校に配置し、生徒の読書活動を支援しました。

図書館を活用した調べ学習や、教科の学習を支援するための効果的な物流の在り方を検討し、配送システムを試行しました。平成20年度の配送事業は全39回実施し、小学校16校延べ149回、中学校5校延べ21回で、10,863冊の集配冊数がありました。

学校図書館の機能を活用した学習指導や、読書活動に係る調査研究を行うとともに活用の促進として、生徒への読書案内のための推薦リスト「My Favorite books～誰がなんといってもこの本が好き～」を協力員研修の成果として作成しました。市内小中学校に配布し、各市立図書館のティーンズコーナーなどで活用しています。

11 障がい者・高齢者サービス

障がい者サービスは、小川西町図書館を中心館として位置づけ、中央図書館では著作権の許諾や対面朗読室の対応等を担当しています。

ボランティアの朗読サークル4団体、点訳サークル2団体、拡大写本・布の絵本のサークル1団体、小平市社会福祉協議会などと連携をとり、図書館利用に障がいのある人へのサービスを行っています。

(1) 大活字本132冊、カセットテープ41点、CD190点を購入しました。

(2) 中央図書館では子ども読書月間に布の絵本の展示、小川西町図書館では点訳絵本の展示を行い、PRの促進を図りました。

(3) 録音図書（カセットテープ）の作成及び貸出

- ・朗読テープの作成が1本あり、所蔵点数は、198タイトル1,136巻となりました。
- ・録音図書の貸出依頼は、国内の図書館から10件あり、郵送貸出をしました。
- ・障がい者及び高齢者に対し、前年度に引き続き録音図書とは別にカセットテープの貸出（1人5タイトル、10巻まで）を実施しました。

(4) 視覚障がい者へ個人郵送貸出を行いました。

- ・録音図書 263タイトル（1,268巻）
- ・図書資料 0点
- ・ページ図書（※） 23点

(5) 障がい者の方への行事として、1月11日に「障がい児と心をつなぐ地域のかかわり」と題して、福祉講演会が小川西町図書館で行われ、14人の参加がありました。

(6) 平成21年3月には、毎年1回行っている交流会を開催し、障がい者、図書館、社会福祉協議会、ボランティア団体、小平図書館友の会等と、図書館作成の障がい者サービスのガイドブックについて意見交換を行いました。

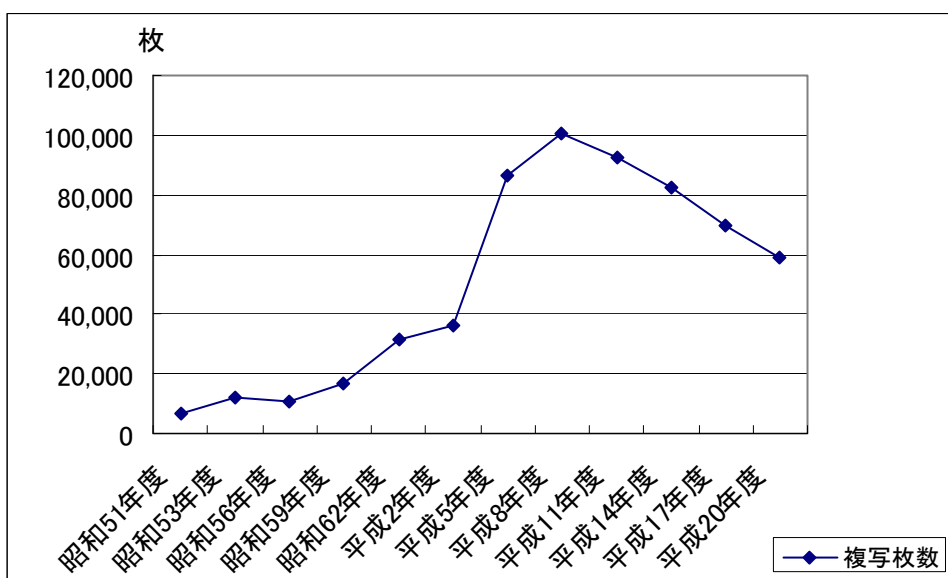
(※) デージー (DAISY) 図書とは Digital Accessible Information System の略で、視覚障がい者用世界標準規格に基づいて CD-ROM で作成された録音図書のことで、CD-ROM 形式のため、再生には専用プレーヤーか Windows パソコンが必要です。

12 複写サービス

小平市立図書館では昭和51年度から複写サービスを開始しましたが、中央図書館が開館する前年度の昭和59年度までは2万枚未満で微増傾向でしたが、平成2年度から8年度にかけては急激な伸びを示し、平成8年度には10万枚を超えています。それ以降は減少の一途をたどっており、インターネットの普及等、情報化時代を反映した傾向が現れています。

平成20年度の複写枚数は59,021枚でした。

【図6】 複写サービスの推移



13 リクエストサービス

(1) 所蔵資料の利用予約 (貸出予約)

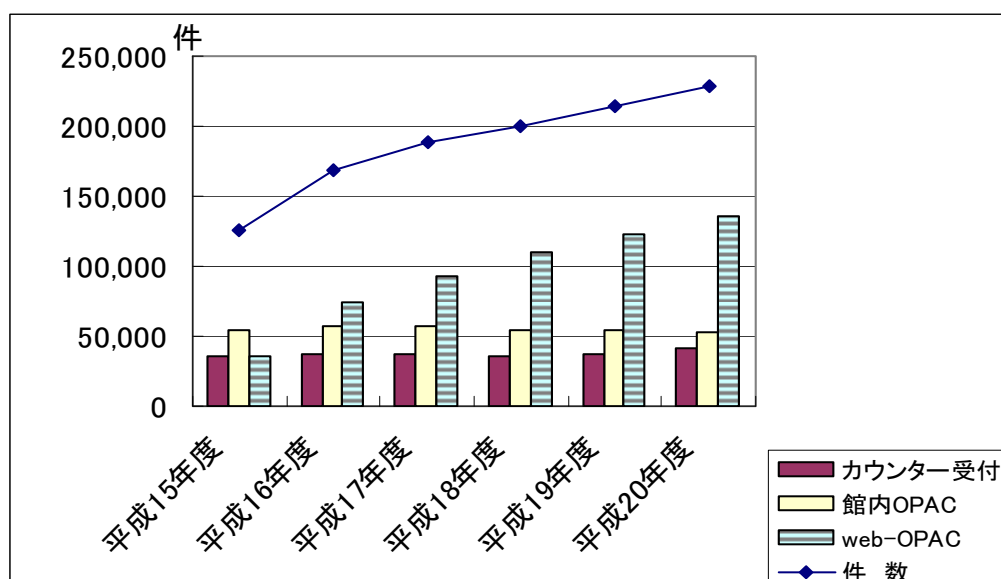
利用者の求める図書資料を提供するリクエストサービスは、平成15年度からWeb予約、全件予約を開始したことにより、飛躍的に増加しました。伸び率は落ち着いてきましたが、Web-OPACでの予約は伸び続けています。

【表 19】 リクエスト件数の推移

(単位：件)

年 度	カウンター 受付	館内 OPAC	Web-OPAC	総件数	前年度比
平成15年度	35,402	54,672	35,100	125,174	184%
平成16年度	36,827	57,651	73,886	168,364	134%
平成17年度	36,871	57,590	93,412	187,873	112%
平成18年度	36,005	54,897	109,299	200,201	107%
平成19年度	37,658	54,463	122,419	214,540	107%
平成20年度	40,840	53,185	135,213	229,238	107%

【図7】 リクエスト件数の推移



(2) 未所蔵図書への購入（リクエスト購入）

利用者の求めに応じたリクエストとして、2,581冊の資料を購入しました。

(3) 相互利用による資料の貸借の促進

未所蔵資料のリクエスト対応として、都立図書館から2,274冊、多摩六都（※）の構成市から1,147冊、その他の市区町村から1,982冊、国会図書館から3冊の計5,406冊を借用しました。また、相互協力として、多摩六都に2,686冊、その他の市区町村に3,402冊の計6,088冊の資料を貸出しました。

（※）多摩六都とは、多摩北部都市広域行政圏協議会を構成する多摩北部の5つの自治体（小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市）の圏域をいいます。

1.4 広域利用の推進

(1) 都立図書館及び多摩地域公立図書館との相互貸借の推進

相互貸借は、前年度に比べ、貸出は7.7%、増加し、借用は0.1%減少しています。都立図書館のホームページの「東京都立図書館横断検索」によって、都内図書館蔵書約3,800万冊を簡単に検索でき、予約もできるため、区部との相互貸借も増加しています。

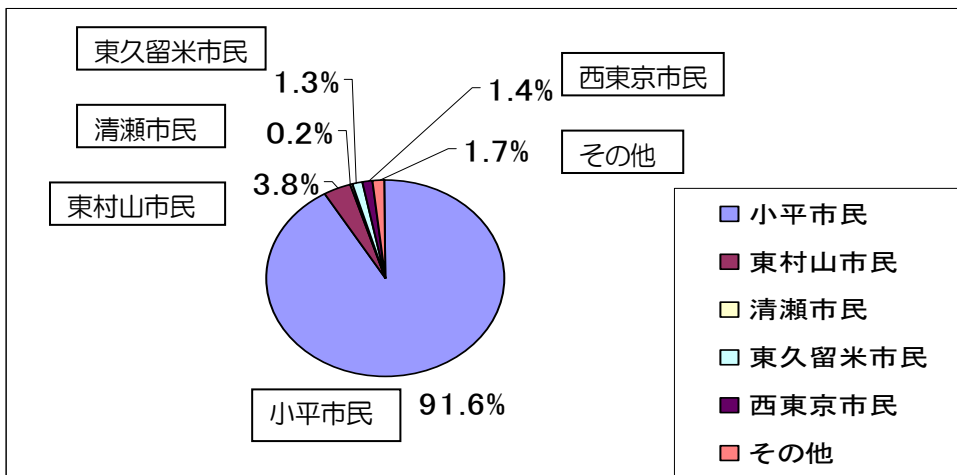
【表20】 相互貸借の実績

(単位：冊)

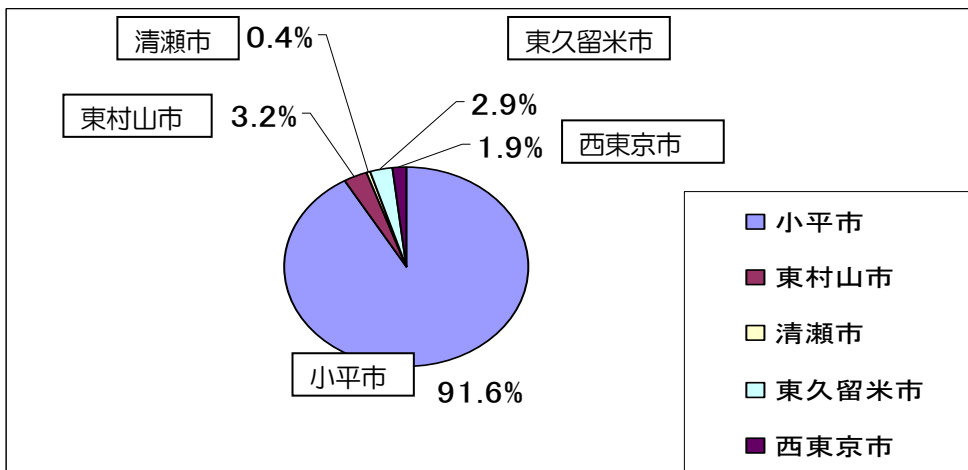
年 度	貸借	都立図書館	多摩六都	その他	合計冊数	前年比
平成18年度	貸出	0	2,286	2,433	4,719	16.8%
	借用	2,663	953	1,372	4,988	4.6%
平成19年度	貸出	0	2,602	3,050	5,652	19.8%
	借用	2,659	1,217	1,535	5,411	8.5%
平成20年度	貸出	0	2,686	3,402	6,088	7.7%
	借用	2,274	1,147	1,985	5,406	△0.1%

多摩六都の平成20年度広域利用状況は図8及び図9のとおりです。小平市立図書館の貸出資料数を見ると、小平市民の利用が91.6%を占めています。広域利用として小平市立図書館の利用は、小平市に隣接している東村山市民が3.8%、東久留米市民が1.3%、西東京市民が1.4%で、隣接していない清瀬市民は0.2%です。これに対し小平市民の広域利用は、小平市に隣接している東村山市が3.2%、東久留米市が2.9%、西東京市が1.9%で、隣接していない清瀬市は0.4%です。このことから、隣接市の図書館を相互に利用しており、広域利用が一定の効果を上げています。

【図8】 小平市立図書館の広域利用状況



【図9】 小平市民の広域利用状況



(2) 都立図書館とのインターネットによる図書資料情報ネットワークの推進

都立図書館のホームページでは図書館関係の多様な情報が提供されており、蔵書検索や東京都の図書館横断検索を始めレファレンス申込みやレファレンス事例のデータベース、雑誌記事索引、図書館関係リンク集、法律情報・医療情報・ビジネス支援サービス等の充実した内容の情報が整備されています。

これらの情報を積極的に利用するとともに、より効率的かつ効果的な情報提供に努めるために、都立図書館の研修に積極的に参加し、担当者の連絡会議や研究会を通して図書資料情報ネットワークの推進を図りました。

(3) 多摩六都の公立図書館との相互協力による利用サービス及び連携の推進

多摩北部都市広域行政圏協議会の図書館専門委員会において次の課題について検討し、利用サービス及び連携の推進を図りました。

① 多摩六都・図書館共通利用カード発行要綱及び要領の改訂について

平成20年10月から東村山市が共通利用カードを発行することに伴い、要綱及び要領を改訂しました。

② 課題解決型図書館の研究について

地域の課題解決型図書館サービスについてのアンケートを作成しました。

③ レファレンス研修等の実施について

多摩六都合同で実施することで、専門的な講師を招いた研修が実現でき、共通認識が得られる等の効果から、レファレンス研修と講演会を開催しました。

ア 日時：平成20年10月10日（金）

内容：レファレンスの基本について

講師：齊藤誠一氏（千葉経済短期大学准教授）

イ 日時：平成21年2月4日（水）

内容：子どもの本と著作権

講師：植村和久氏（チャイルド本社 専務取締役）

④ 多摩六都図書館ガイドブックについて

ガイドブック発行によるPR効果が大変効果的であることから、今年度も継続して発行し、並行してホームページ版ガイドブックの更新を進めました。

15 図書館関係団体に対する援助・連携

(1) 補助金の交付

小平市子ども文庫連絡協議会に対して補助金を交付しました。（補助金 285,000 円）

(2) 事業活動への協力

子ども文庫連絡協議会と相互に協力し、講演会を行いました。

日 時：平成20年7月26日（土）

会 場：中央図書館

演 題：「学校図書館に命を吹き込む」

講 師：五十嵐絹子氏

参加者：91人

16 図書館ボランティアの参加促進

図書修理等を行う一般ボランティア及び古文書ボランティア、情報ボランティアが活動しまし

た。担当職員と各ボランティアグループとの懇談会を実施しました。

図書館ボランティア活動の実施結果は次のとおりです。

【表 21】 図書館ボランティア活動実績

年 度	一般ボランティア		古文書ボランティア		情報ボランティア (19年7月～)	
	活動日数	参加人数	活動日数	参加人数	活動日数	参加人数
平成18年度	92	94	49	263		
平成19年度	70	144	50	277	15	43
平成20年度	45	132	47	202	11	52

17 図書清掃の実施

利用者に、図書を気持ちよく借りていただくため、図書館サービスの一環として、返却本のエタノール消毒を行っています。平成19年度は、下記の内容でシルバー人材センターに業務委託して実施しました。

【表 22】 図書清掃（消毒）の実施状況

館 名	実 施 時 間 ・ 曜 日	
中央図書館	9時～12時	火・水・木・土、6・12・1・2月の月・日
	9時～15時	4・5・7・8・9・10・11・3月の月・日
仲町図書館	13時～15時	月
	13時～16時	水・土
花小金井図書館	9時～12時	火・水・土・日
小川西町図書館	13時～15時	水・土
	13時～16時	月
喜平図書館	13時～16時	月・水・日
上宿図書館	13時～16時	月・水・土
津田図書館	13時～15時	7・8月を除く月・水・土
	13時～16時	7・8月の月・水・土
大沼図書館	13時～15時	月・土
	13時～16時	水

18 施設の運営管理

(1) 各図書館・分室、東部・西部市民センターの維持管理

図書館及び東部・西部市民センターを、市民の方々が気持ちよく安全に利用していただくために、定期的に各施設や設備の点検を行いました。

この点検により、いくつかの不具合箇所が早期に発見でき、補修及び修繕を行いました。

(2) 集会室の維持管理・貸出（喜平図書館、上宿図書館）

集会室は、市民相互の交流及び市民文化の向上を目的に設置されたものです。

平成20年度の利用は、喜平図書館で608件、7,628人、上宿図書館で207件、1,650人、合計で815件、9,278人でした。

【表23】 集会室貸出推移

年 度	喜平図書館	上宿図書館	合 計
平成18年度	510	282	792
平成19年度	598	288	886
平成20年度	608	207	815

(3) 仲町図書館建て替えの検討

仲町図書館の建て替えについては、検討会議を開催して、関係各課で建て替えに伴う課題の整理を進めました。主な検討課題は、次のような項目です。

- ① 仲町公民館との施設の統合化
- ② 施設の共有と効率的な利用
- ③ 建て替えに伴う課題の整理

19 図書館施設の提供

図書館施設の活用を図るため、要綱を制定し、図書館事業や読書に関する活動を推進、実施する団体に、視聴覚室、対面朗読室、館外奉仕室を提供しました。

20 実習生及び職場体験学習等の受入れ

(1) 図書館実習生（大学生等）の受入れ

- ① インターンシップ制度に基づき実習生を受入れました。
平成20年8月7日～8月12日 首都大学東京2人
平成20年8月5日～8月18日 創価大学2人
- ② 社会教育主事資格取得のための実習生を受入れました。
平成20年7月9日～7月10日 駒沢大学1人
- ③ 教員研修の一環としての実習生を受入れました。
平成20年7月29日～8月3日 1人

(2) 図書館見学・職場体験学習及び視察等の受入れ

① 図書館見学

図書館見学は主に小学校3年生が対象で、図書館の利用方法の説明、おはなし会、図書の貸出、館内見学の内容で実施しました。今年度の図書館見学は、小学校16校43クラスの1,403人と幼稚園1園の82人でした。

【表24】 図書館見学の受入れ実績

館 名	小学校数	クラス数	人数	幼稚園数	人数
中央図書館	3	7	246	1	82
仲町図書館	2	5	148		
花小金井図書館	1	3	81		
小川西町図書館	2	6	193		
喜平図書館	4	9	284		
上宿図書館	2	6	194		
大沼図書館	2	7	257		
合 計	16	43	1,403	1	82

② 職場体験

職場体験は主に中学生を対象に受け入れました。主に、カウンター業務を中心に、図書排架、図書整理等を体験し、図書館業務への理解を深めました。今年度の職場体験は、小学校2校の8人と中学校20校の52人でした。

【表 25】 職場体験の受入れ実績

館名	小学校数	人数	中学校数	人数
中央図書館			7	19
仲町図書館			2	4
花小金井図書館	1	4	2	6
小川西町図書館	1	4	1	4
喜平図書館			2	5
上宿図書館			1	2
津田図書館			4	11
大沼図書館			1	1
合計	2	8	20	52

③ 視察の受入れ

行政視察として、花小金井図書館において平成21年3月11日に、山梨県富士吉田市立図書館の図書館協議会委員及び事務局職員15人を「複合施設における図書館の在り方の調査研究」という内容で受け入れました。

2.1 職員研修及び実務研修等

(1) 司書資格取得講習会への派遣（3人）

図書館職員としての専門的知識と技術を習得するため、3人の職員を派遣し、図書館職員の資質の向上を図りました。

【表 26】 司書講習先及び期間

講習先	講習期間
亜細亜大学	平成20年7月19日～9月16日

(2) 全体研修会の開催（年4回）

全館の全職員を対象に年4回（4月・7月・11月・1月）の図書館職員研修会を開催し、毎回テーマを設定して図書館事業の意義や課題について研修を深めるとともに、専門研修参加職員からの報告及び職員を講師とした専門研修を開催しました。職員一人ひとりの小平市立図書館職員としての専門性を高めました。

【表 27】 職場研修の内容

開催日	研修内容	対象者
平成20年4月17日	接遇について カウンターマニュアルについて 新聞記事検索について	全職員及び 嘱託職員

開催日	研修内容	対象者
平成20年4月17日	〔新任職員研修〕 勤務体制 図書館運営と事業計画 図書館サービス 蔵書管理と選書 レファレンスサービス	異動職員
平成20年7月17日	多摩六都・図書館危機管理マニュアルについて 研修報告 ・著作権研修 ・児童新任研修 ・わらべうた研修 視察報告	全職員
平成20年11月20日	東京都市町村立図書館長協議会 館長研修会報告 司書講習の報告 レファレンス研修報告 ビジネス支援コーナー実施状況報告 市長への手紙・図書館への意見について	全職員
平成21年1月15日	市町村職員研修所図書館科の報告 レファレンス研修報告 図書館サミット報告 視察報告 民話講座について (玉川上水の映像紹介・図書館ホームページの解説)	全職員

(3) 実務研修・各種研究会への参加

東京都多摩地域公立図書館大会、著作権実務講習会（文化庁）、レファレンス研修（東京都立図書館・多摩六都研修部会）等の各種研修会に職員を派遣し、専門性の向上、職員一人ひとりの知識の向上を図りました。

(4) 各種職場研修の実施

市民の課題解決を支援するため、館内レファレンス研修を実施しました。基本的な資料検索の理解を目的とした「資料検索研修」と、基礎的なインターネット情報の紹介と検索に主眼をおいた「インターネット研修」を実践的な演習形式で行い、日常業務に有効活用できるように努めました。

【表28】レファレンス研修の内容

開催日	研修内容	対象者
平成20年 7月17日	資料検索研修Ⅰ 基本検索、都立図書館の検索	中央・地区図書館職員 及び嘱託職員10人
平成20年11月20日	資料検索研修Ⅱ 基本検索、都立図書館の検索	中央・地区図書館職員 6人
平成21年 1月15日	インターネット情報 国会図書館HP Webcat Plus 官公庁HP等	中央・地区図書館職員 8人

22 広報活動

(1) 図書館だよりの発行（年2回）

これからの図書館は、情報化社会の進展にともない、地域の課題解決や地域の振興を図るための資料・情報の提供機関としての役割を担うとともに、市民の方々との協働を様々な形で進める必要があります。

情報発信の一つとして平成14年11月発行の54号以降休刊していましたが「小平市図書館だより」を平成18年度に再刊しました。平成20年度もNo.59・No.60の2号を発行し、情報発信に努めました。

(2) 図書館紹介、利用案内、図書館カレンダー等の作成・配布

図書館紹介・利用案内・図書館カレンダーを作成し配布しました。平成20年度は、利用案内の内容を見直し、より分かりやすい内容に改正しました。

多摩六都で発行している多摩六都図書館ガイドブックも、発行を継続することになりました。

(3) 新刊・新着図書案内の発行

購入等によって新しく所蔵した図書や視聴覚資料について広報するために、新着図書・資料案内を月2回中央図書館及び各地区図書館で作成し、利用に供しました。

図書館ホームページの新着案内を週1回更新しました。

(4) 市報等の活用（「図書アラカルト」、行事等）

「図書アラカルト」は図書館に所蔵している本を、できるだけ多くの方に伝えるために、昭和56年4月から「市報こ दौर」に連載しているものです。子ども向きの本や大人向きの本3～6点を図書館員が選び、コメントを付けて紹介しています。ホームページで、昭和56年度から平成20年度までに掲載したものを公開しました。

講演会、講座等についても案内を市報に掲載しました。

(5) 図書館ホームページの整備・活用

図書館が地域の情報拠点として機能するために、情報のデジタル化を進め、ホームページからの情報発信を充実させました。

図書館だより、図書館協議会要旨、行事の開催、図書館からのお知らせ等、その都度公開するとともに、市報に掲載した「図書アラカルト」のすべてをデジタル化し、公開しました。また、調べ物コーナーにレファレンス事例集の掲載を開始しました。

(6) 夏休み家族一日図書館員の開催

今年で19回目の事業を、中央図書館と地区館で実施しました。

日時 平成20年7月27日（日）午前9時～正午
会場 中央図書館、地区図書館（7館）
参加者 9家族（19人）

23 利用者アンケート調査

行財政再構築プラン「改革推進プログラム」実施項目の一つとして挙げた「図書館利用者アンケート」を、平成20年11月に対象を中学生以上の来館者として1ヶ月間実施しました。

回収件数は、2,637件、回収率は72%でした。結果数値を速報として「小平市図書館だより60号」に掲載しました。

各地区図書館の事業の成果

1 仲町図書館

仲町図書館は、昭和50年5月18日に小平市図書館として開館し、昭和60年7月1日から現在の小平市立仲町図書館の名称になりました。

「利用しやすい図書館」「親しみやすい図書館」をめざして、1階に一般図書、2階に児童書・地域資料・参考コーナーを配置して、落ち着いた雰囲気できれいに利用してもらえるよう努めました。

(1) 地域資料の収集・整理・保存事業

① 収集内容

- ・雑誌（タウン誌・ミニコミ誌）
- ・地域新聞（多摩地域各市及び東京都で発行する広報紙・議会報・文化施設の発行する新聞）

② 平成20年度実績

- ・タウン誌・ミニコミ誌 21タイトル（有料のもの 12タイトル）
- ・広報紙 30市町村各紙（東京都含む）

③ 合冊製本

過去に収集したタウン誌の製本合冊

平成20年度 15冊（4タイトル）

- ・月刊 味覚春秋（銀座・麻布味覚情報誌）
- ・東京かわら版（寄席・日本橋地域情報誌）
- ・月刊 日本橋（日本橋周辺情報誌）
- ・月刊 KACC E（練馬・板橋タウン情報誌）

④ 新聞切り抜き

平成18年多摩版（朝日・毎日・読売・東京・産経）の切り抜き・製本

※所蔵は、中央図書館で行っています。

(2) 児童サービス

① 展示

季節に合わせて、児童書（絵本）を2階南側の棚に展示し、利用の促進とともに、子どもを中心として楽しめるよう工夫しました。

【表29】仲町図書館の年間展示テーマ

月	テーマ	月	テーマ
4月	冊子「えほんだいすき」内の本	10月	ハロウィン（かぼちゃ・魔女）
5月	母の日と緑・新緑	11月	セーター・秋・手袋等
6月	かえる・雨・傘	12月	クリスマス
7月	七夕・星	1月	お正月・「牛」の本
8月	虫・おばけ	2月	節分・雪
9月	月・うさぎ	3月	動物の春・花（桃、すみれ等）

② 学校へのPR

担当小学校である小平第二小学校、小平第十四小学校には、上記の季節の本のお知らせや仲町図書館のおはなし会の実施日を記したカレンダーを配布し、利用の促進を図りました。

2 花小金井図書館

花小金井図書館は平成17年度の移転事業を経て、平成18年5月8日にリニューアルオープンし、新館になって2年が経ちました。

施設は、屋上緑化、太陽光発電、風力発電など環境に十分配慮した特徴を持ち、断熱効果やエネルギー節減により温室効果ガス削減を目指しています。また、雨水貯留槽を設置し、トイレの洗浄水に使用しています。さらに2階、3階のテラスに読書スペースを設け、屋外という自然の中で読書が楽しめるほか、おはなし会が行われない日は、おはなし室を読書室として開放しています。

リニューアルオープン以来、図書資料の利用は増え続け、平成20年度の貸出資料数は256,481点で18年度に比べ約48,000点の増となりました。

(1) リーフレット収集事業

リーフレット収集事業では、スーパーのチラシや求人広告など小平市内の宅配新聞の中に折り込まれているチラシを32の件名に分類し、約1,900枚を収集しました。今後は分類別に分けたチラシを10分冊に製本し保存します。

今後も地域研究に活用が期待できる専門的な資料として、その存在をPRしていきます。

(2) ビジネス支援コーナーの設置

平成20年3月にビジネス支援コーナー『ワクワクwork』を設置しました。仕事や起業に関する図書資料の提供、パンフレットの配布、資格ガイドの紹介、求人広告の展示等を行っています。また、産業振興課から中小企業庁支援事業やハローワーク等のパンフレットを提供してもらうなど、関係機関と情報交換を密にして連携を図りました。

平成20年度には、このコーナーを活用していただくためにホームページを立ち上げました。さらに市民の活用を図るため、広報を積極的に進めています。

(3) 児童サービスにおける小中学校との連携

① 特別団体貸出

総合学習、調べ学習等の学習用として、今年度は小学校2校、中学校2校へ782冊の図書の貸出を行いました。

② 学校図書館ボランティア養成講座

とき：平成21年1月26日

会場：花小金井図書館

対象：小平第五小学校学校図書館ボランティア 6名

3 小川西町図書館

平成20年度も引き続き、地域の図書館として利用者に分かりやすい表示やレイアウトに心がけ、図書館資料の利用の促進と学習の場の提供に努めました。

また、小川西町図書館は障がい者サービス中心館として研究を進め、障がい者理解を推進し、事業を実践しました。

(1) 展示会等の開催

館内の展示コーナー及び展示ケースを活用し、視力に障がいのある人のための点字図書や障がいのある子どものための布の絵本・布の遊具などの展示を行いました。

(2) 障がい者サービス

視力に障がいのある人に対し録音図書・点字図書・点訳絵本の貸出や障がいのある子どもがいるグループに対し、布の絵本・布の遊具の貸出を行ったほか、来館した障害のある人に館内

の説明を行いました。また、障がいのある子どものいるグループに対しての、布の絵本・布の遊具の貸出を市内すべての図書館に広げ、利用の促進を図りました。

視力に障がいのある人に対する録音図書の貸出については、郵送によるサービスの推進を図りました。

また、毎年度、障がい者や高齢者の利用の促進を図るための福祉講演会を開催しています。本年度は、東京学芸大学教授 伊藤良子氏による「障がい児と心をつなぐ地域のかかわり」の演題での講演会を行い14人の参加がありました。

【表30】 郵送貸出の推移

		貸出人数（実人員）			貸出タイトル数*			貸出数		
年 度		18	19	20	18	19	20	18	19	20
録音資料	個人貸出	22	27	22	425	442	286	1,953	2,024	1,291
	公共図書館貸出	8	3	4	18	3	10	107	20	61
図書資料		1	0	0	3	0	0	3	0	0
点字資料		4	4	4	129	122	161	149	122	161
合 計		35	34	30	575	567	457	2,212	2,166	1,513
郵送貸出登録者数		51	50	50						

*貸出の都度、1タイトルと数える。

4 喜平図書館

昭和56年6月27日に開館した喜平図書館は、小平団地の東南の角にあり、明るい環境の中で地域利用者が気軽に利用できる図書館です。

(1) 教科書

小中学校用教科書は、開架フロアに表31・32のものを展示し、貸出・閲覧を行っています。なお、平成20年度の小学校教科書の貸出数は166冊、中学校教科書の貸出数は121冊でした。

【表31】 小学校教科書の所蔵点数

種 目	種類数(種)	点 数(点)	種 目	種類数(種)	点 数(点)
国 語	5	60	音 楽	3	18
書 写	5	30	図画工作	3	18
社 会	5	30	家 庭	2	2
地 図	2	2	保 健	5	10
算 数	6	66	合 計	50	286
理 科	5	32		(16社)	
生 活	9	18			

【表32】 中学校教科書の所蔵点数

種 目	種類数(種)	点 数(点)	種 目	種類数(種)	点 数(点)
国 語	5	15	美 術	3	9
書 写	6	12	保健体育	3	3
社 会	8	24	技術・家庭	2	4
数 学	7	21	英 語	6	18
理 科	5	20	合 計	47	134
音 楽	2	8		(16社)	

(2) 郷土写真資料

郷土写真資料の収集保存事業は、主に収集・保存・利用・広報の4つの要素から成立し、それぞれの事業が有機的に連動しながら実施されています。

① 写真資料のデジタル化

平成14年度から写真資料をデジタル化するため、シルバー人材センターに委託し、データ入力しています。平成20年度は、4,321件をデータ入力しました。

② 郷土写真展

テーマを「昭和24年から昭和31年のこだいら」とし実施しました。(上宿図書館との共同事業)

期 間 平成21年2月21日から3月18日(中央図書館を除く各館同時に)

平成21年3月21日から3月30日(中央図書館)

内 容 昭和24年から昭和31年まで撮影した飯山達雄氏寄贈写真の中から「昭和24年～昭和31年頃のこだいら」をテーマとし選定したものを次のとおり展示しました。

中央図書館	農業、のりもののある風景、まつり・行事、お店・工場、農家の一日
仲町図書館	のりもののある風景
花小金井図書館	まつり・行事
小川西町図書館	お店・工場
喜平図書館	農家の一日
上宿図書館	まつり・行事
津田図書館	お店・工場
大沼図書館課	農家の一日

(3) 児童サービス

① 幼児コーナー展示

【表33】喜平図書館の幼児コーナーの年間展示テーマ

月	展示絵本(幼児コーナー内)	展示図書(幼児コーナー横へ別置)
4月	春の本	はる・る・る・る(春の本)
5月	お母さんの本	お江戸の本
6月	雨の本	中国とアジア・アフリカの本
7月	夏の本/星の本	戦争の本/自由研究の本
8月	夏の本/おばけの本	戦争の本/自由研究の本
9月	じいじとばあばの本/月の本	小平三小「いのちの本」
10月	食べ物の本/まほうの本	絵画・音楽・食よく…秋の本
11月	いぬとねこの本	絵画・音楽・食よく…秋の本
12月	クリスマスの本	クリスマスの本
1月	雪の本	お仕事の本
2月	おにの本	がんばる女の子・元気な女の子の本
3月	はるの足音きこえるよ	いろ・いろいろ(色の本)

② 小学校との連携

・授業支援

5月20日（火）・21日（水）・23日（金）小平第九小学校5・6学年に「環境を考える」のブックトークを行いました。

5月30日（金）6月2日（月）小平第三小学校に「本の調べ方」の授業支援を行いました。

7月11日（金）小平第三小学校5学年に、7月15日（火）鈴木小学校6学年に「夏休み」のブックトークを行いました。

・ボランティア支援

喜平図書館集会室で、学校図書館ボランティアにスキルアップ講座を行いました。（「絵本の読み聞かせ 連続2回講座」第1回 9月11日（木）、第2回 11月4日（火）参加者延べ34人）

③ 広 報

以下のチラシを作成し、利用及び行事等への参加促進に努めました。

- ・子どもカレンダー・・・担当小学校3校へも配布
- ・おはなし会のしおり・・・初めて参加する保護者向け案内
- ・おはなし会年間日程
- ・絵本のへや年間日程
- ・絵本のへやで人気のあった絵本リスト

(4) 集会室

① 集会室は、市民相互の交流並びに市民文化の向上を目的に設置されたものです。

平成20年度の利用状況は、有料・免除団体を含めて83団体で延べ608件、7,628人が利用しました。

② 平成21年3月末現在の登録団体は161団体です。

集会室の利用状況は、次の表のとおりです。

【表34】喜平図書館・上宿図書館の集会室利用状況 (単位：件)

部屋名	館 名	午 前	午 後	夜 間	合 計
第1集会室	喜平図書館	91	71	29	191
	上宿図書館	46	23	8	77
第2集会室	喜平図書館	119	81	33	233
	上宿図書館	39	39	14	92
和 室	喜平図書館	127	45	12	184
	上宿図書館	12	18	8	38
合 計	喜平図書館	337	197	74	608
	上宿図書館	97	80	30	207

5 上宿図書館

上宿図書館は昭和57年6月26日に開館しました。図書以外の資料収集としては、次の事業を実施しました。

(1) 小平市に関する新聞記事切り抜き

平成19年度分として、原紙5分冊、複写2分冊(2セット)を製本しました。昭和55年4月から朝日、毎日、読売、産経、東京、日経の各紙について切り抜き整理・保存しています。

(2) 郷土写真資料

① 郷土写真資料の撮影保存

市内288か所(秘書広報課から寄託された写真)のポイントを撮影しました。

秘書広報課(広報広聴課)から寄託された昭和57年に撮影したポイント写真520か所、626枚について5年計画(平成18年度から22年度)で撮影をします。

図書館撮影の定点写真は昭和56年度から平成15年度までの210か所を保存しています。平成16・17年度は96か所を保存しています。平成20年度は96か所撮影しました。

② 郷土写真展「昭和24年～昭和31年頃のこいだいら」を行いました。

(喜平図書館と共同事業)

期間：平成21年2月21日(土)～3月18日(水)

中央図書館のみ平成21年3月21日(土)～3月30日(月)(改修工事のため)

内容：市内在住の写真家飯山達雄氏寄贈の写真からテーマを決めて展示しました。

懐かしい小平を生き生きと映し出しました。

(3) 集会室

平成20年度の利用状況は、有料・免除団体を含めて32団体で延べ207件、1,650人が利用しました。平成21年3月末現在での登録団体は48団体です。

集会室の利用状況は、【表34】のとおりです。

6 津田図書館

津田図書館は、ポスター等事業の収集分担館として、小平市内で発生したもののほか、小平市の行政や市民生活に関係する外部から送付されたものを含めて、昭和62年7月4日の開館以来、これらの資料を組織的に収集・整理・保存しており、その実績は次のとおりです。

【表35】ポスター等収集実績一覧

年 度	受入点数	年 度	受入点数	年 度	受入点数
昭和 62 年度	169	平 成 9 年 度	358	平成 19 年度	451
昭和 63 年度	255	平成 10 年度	201	平成 20 年度	434
平成 元 年 度	105	平成 11 年度	216	合 計	5,140
平成 2 年 度	58	平成 12 年度	227		
平成 3 年 度	79	平成 13 年度	178		
平成 4 年 度	160	平成 14 年度	152		
平成 5 年 度	196	平成 15 年度	290		
平成 6 年 度	127	平成 16 年度	360		
平成 7 年 度	207	平成 17 年度	366		
平成 8 年 度	162	平成 18 年度	389		

7 大沼図書館

平成13年1月9日に開館した大沼図書館は、市民の暮らしに役立ち、身近で気軽に利用でき、親しみの持てる図書館として、事業・行事によるPRを通じ、図書館への関心を高め、利用の促進を図りました。

(1) 主な事業

- ・全国各地の1月1日発行の主要地方新聞を集めた「ふるさとの新聞元旦号展」を、平成21年1月17日（土）から22日（木）まで開催しました。（協力58紙）
- ・各館の収集分担に基づき、小平市に在住している方々の著作物を収集し、利用に供しました。（蔵書数：2,472冊）
- ・児童書と一般図書それぞれ毎月テーマを決めて、テーマに関する本を別置して展示し、利用の促進を図りました。

【表36】年間展示実績

月	児童書（テーマ）	一般書（テーマ）
4月	1年生の本、学校の本 図書館のおすすめ絵本	「えほん だいすき」掲載本
5月	お母さんの本、犬の本	6月2日、ペリー来航
6月	お父さんの本、みどりの本	羽生永世名人誕生！
7月	雨の本、雷の本	オリンピック（北京）
8月	中学生夏休みおすすめ本 夏の本、旅行の本、戦争の本	介護・介護保険
9月	おじいさん・おばあさんの本	東京を遊ぶ
10月	たのしい本・ハロウィン	絵本でアジア一周
11月	音楽・美術の本	地方の民話
12月	クリスマスの本	寝正月 青春時代の読み返し
1月	干支の本、お正月の本	命の源、食とは～何がウソ！ホント！ 食と健康
2月	雪の本、冬の本、鬼の本	猫づくし
3月	春の本、花の本、ひな祭りの本	

参 考 資 料

- 資料1 小平市図書館協議会
「人と人をつなぐ図書館～広報活動について～」
(平成21年3月31日提言)
- 資料2 平成20年度小平市立図書館事業統計(平成21年3月31日現在)
- 資料3 平成20年度小平市子ども文庫連絡協議会事業報告